

平成20年度 国分寺市埋蔵文化財調査年報



(武蔵国分寺跡④地区(西元町3丁目)作業風景)



(武蔵国分寺跡④地区(西元町2丁目)調査作業風景)



(武蔵国分寺跡④地区(泉町1丁目)作業風景)



(殿ヶ谷戸遺跡⑤地区(南町2丁目)埋蔵検出状況)

2010年3月
国分寺市教育委員会

例 言

1. 本書は、東京都国分寺市において、平成 20 年度に実施した個人住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査および民間開発に伴う確認調査の概要をまとめたものである。なお、付編として平成 10 年～15 年度に実施した個人住宅建設及び遺構確認に伴う埋蔵文化財発掘調査のうち、遺構・遺物の検出がなかった小規模調査を掲載した。
2. 発掘調査は文化庁と東京都の補助を受け、国分寺市教育委員会が調査主体者となり国分寺市遺跡調査会に委託して調査を実施した。
3. 本書の執筆は国分寺市教育委員会立川明子が担当した。遺物写真は同小野本教が撮影し、遺構図面は国分寺市遺跡調査会島田智博が、遺物図面・拓本は同佐藤絳佐子、佐藤令、小林幸江が作成し立川が編集した。
4. 石器の実測は佐藤絵里奈氏にご教示を賜った。記して感謝を申し上げる。

凡 例

1. 本書に記載した各遺跡における遺構表示は、下記の記号を冠して遺構毎に連続番号を与え登録している。但し小穴については調査回数ごとに連続番号を付している。縄文時代の土坑は末尾に「J」を付し、小穴は「PJ」を冠して、歴史時代の遺構と区別している。

SI	竪穴住居	SD	溝	SK	土坑	SX	特殊遺構
P	小穴	SU	埋甕	SS	集石	PJ	縄文時代小穴
ST	石器集中地点						

2. 本書に記載した遺物は、調査回数ごとに下記の記号を冠し種別ごとに連続番号を与えて登録したものを次数別に表示した。

歴史時代	土器類	PH	土師器	PK	須恵器	PL	土師質土器	PN	灰釉陶器
	瓦埴類	KB	宇瓦	KC	男瓦	KD	女瓦		
縄文時代	土器類	JF	中期後半						
旧石器時代	石器類	FA	ナイフ形石器	FL	調整剥片石器				

3. 縮尺は下記の通りである。

遺構	全体図	1/100	1/125	1/150	1/160	1/200	1/250	1/300	1/350	1/500
遺物	歴史時代	[図面]・[図版]	土器類	1/3	瓦埴類	1/4				
	縄文時代	[図面]・[図版]	土器類	1/3						
	旧石器時代	[図面]・[図版]	石器類	1/2						

4. 調査の基準線は、武蔵国分寺跡においては僧寺金堂・講堂間に原点を置く局地座標系による。(旧日本測地系へ変換可) 花沢西遺跡他の遺跡については平成 14 年 4 月 1 日施行の改正測量法に基づき測量基準点を旧日本測地系から世界測地系へ漸次変更中であるため旧日本測地系第 9 系と世界測地系第 9 系が併存している。

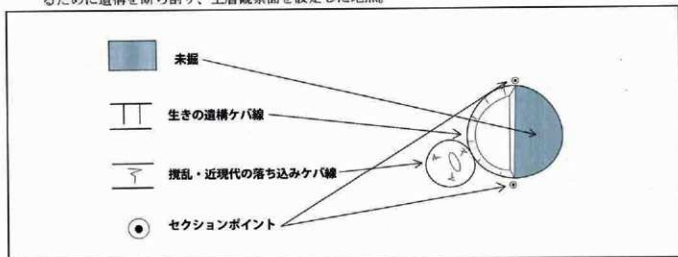
5. 調査の分層は武蔵国分寺跡周辺の調査における国分寺市遺跡調査会の層位区分に基づいて行っており、本書における呼称も同様である。(参考:1985『武蔵国分寺跡発掘調査概報Ⅷ』)

6. 遺物観察表は回数毎にまとめて列記している。表中の計測値は、括弧の無いものは実数値、()のあるものは残存数値、(())のあるものは復元数値、- は計測不可を示す。計測の単位は、長さ・幅・厚さが cm であり、重さは g である。

瓦の分類は『武蔵国分寺跡発掘調査概報 33』(国分寺市遺跡調査会 2006)に拠る。

7. 図面・図版 の見方

- ・未掘…確認調査では、検出された遺構は掘削せず、確認調査後の本調査において掘削を行うため、遺構を掘削してない箇所。
- ・遺構ケバ線…本調査において、検出された遺構の完掘平面図に加える線。遺構の上端（遺構の掘り込み）から、遺構の下端（遺構の底面）に向かって掘り込まれている様子を表わす。
- ・攪乱・近現代の落ち込みケバ線…近現代以降に掘り込まれ、遺構を攪乱している掘り込み。
- ・セクションポイント…遺構が構築されてから埋没するまでの過程を土層の堆積状況によって判断するために遺構を断ち割り、土層観察面を設定した地点。

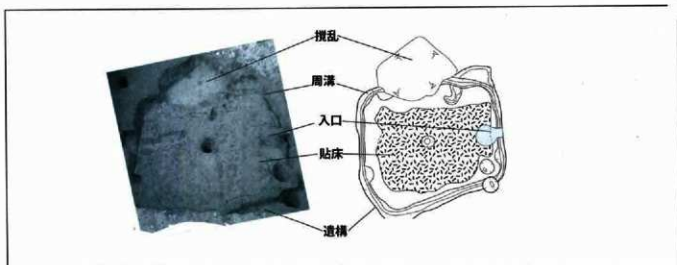


* 竪穴住居に伴う施設 *

竈…周囲を壁体とし、前面に焚き口を開き、上に鍋や釜をかけ、中で火を炊いて煮炊きをする厨房施設。

貼床…竪穴住居の床面を作る際、掘ったままの床面を整地するため、床面上に土を敷いて整形した床面。

周溝…住居の壁際に巡らされた溝。高温多湿に対応した住居の排水機能を担っていたと考えられる。入口…地上から、半地下への入口。階段あるいは梯子が設けられていたと考えられる。



目次

例言	1
凡例	1
目次	3
平成20年度遺跡調査会組織	4

第1章 平成20年度埋蔵文化財行政の概要	5
----------------------	---

第2章 平成20年度埋蔵文化財調査の概要	10
----------------------	----

平成20年度 調査地区位置図	11
平成20年度 調査地区一覧	13
①②武蔵国分寺跡第632・633次調査 個人宅造地	14
③⑤武蔵国分寺跡第638・646次調査 個人宅造地	16
④ 武蔵国分寺跡第643次調査 個人宅造地	18
⑥ 武蔵国分寺跡第630次調査 確認調査	23
⑦⑧武蔵国分寺跡第634・635次調査 確認調査	26
⑩⑪武蔵国分寺跡第636・639次調査 確認調査	28
⑨ 武蔵国分寺跡第637次調査 確認調査	30
⑫ 花沢西遺跡第21次調査確認調査 ⑬恋ヶ窪東遺跡第20次調査 個人宅造地	33
⑭ 殿ヶ谷戸北遺跡第2次調査 確認調査	35
⑯ 殿ヶ谷戸遺跡第11次調査 個人宅造地	37
⑰ 花沢東遺跡第8次調査 確認調査	40

付編 平成10年～15年度の小規模調査概要

平成10～15年度 調査地区一覧	42
平成10～15年度 調査地区位置図	43
①②武蔵国分寺跡第462・465次調査 個人宅造地	44
③④武蔵国分寺跡第472・486次調査 個人宅造地	46
⑤⑥武蔵国分寺跡第489・498次調査 個人宅造地	48
⑦⑧武蔵国分寺跡第505・511次調査 個人宅造地	50
⑨⑩武蔵国分寺跡第515・516次調査 個人宅造地	52
⑪⑫武蔵国分寺跡第519・521次調査 個人宅造地	54
⑬⑭武蔵国分寺跡第522・523次調査 個人宅造地	56
⑮⑯武蔵国分寺跡第534・545次調査 個人宅造地	58
⑰⑱武蔵国分寺跡第546・547次調査 個人宅造地	60
⑲⑳武蔵国分寺跡第548・553次調査 個人宅造地	62
㉑㉒武蔵国分寺跡第558・559次調査 個人宅造地	64
㉓㉔武蔵国分寺跡第562次・花沢西遺跡第13次調査 個人宅造地	66

平成 20 年度 国分寺市遺跡調査会組織 (平成 21 年 3 月 31 日現在)

— 役員および監事 —

会 長	坂 浩 秀 一	国分寺市文化財保護審議会委員長
副 会 長	関 口 雄 基 臣	国分寺市文化財保護審議会副委員長
理 事	星 野 信 夫	国分寺市長
理 事	内 田 修	国分寺市教育委員会委員長
理 事	松 井 敏 夫	国分寺市教育委員会教育長
理 事	黒 野 亮 雅	元国分寺市社会教育委員
理 事	北 原 進	国分寺市文化財保護審議会委員
理 事	坂 本 克 治	国分寺市文化財保護審議会委員
理 事	遠 藤 慈 郎	国分寺市文化財保護審議会委員
理 事	小 菅 政 治	東京都教育庁地域教育支援部管理課長
専 務 理 事	竹 内 悟	国分寺市教育委員会教育次長兼教育部長
監 事	榎 戸 潔	元国分寺市社会教育委員
監 事	岡 崎 完 樹	東京都教育庁地域教育支援部管理課埋蔵文化財係長

— 武蔵国分寺跡調査・研究指導委員会 —

委 員 長	坂 浩 秀 一	(考古学) 立正大学名誉教授
委 員	藤 井 恵 介	(建築史) 東京大学大学院工学系研究科准教授
委 員	佐 藤 信 信	(古代史) 東京大学大学院人文社会系研究科教授
委 員	酒 井 清 治	(考古学) 駒澤大学文学部教授

— 事務局 —

事 務 局 長	福 田 信 夫	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課長兼史跡係長
事 務 局 員	田 中 明 仁	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課文化財保護係長
事 務 局 員	中 舎 まり子	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課嘱託係員
事 務 局 員	佐々木 徳 明	国分寺市遺跡調査会

— 調査団 —

団 長	坂 浩 秀 一	立正大学名誉教授
主任調査員	上 敷 領 久	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課史跡係主任
調 査 員	小 野 本 敦	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課史跡係員
調 査 員	中 道 誠	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課嘱託係員
調 査 員	立 川 明 子	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課嘱託係員
調 査 員	富 田 健 司	国分寺市遺跡調査会

第1章 平成20年度埋蔵文化財行政の概要

1. 土木工事に関する埋蔵文化財調査

平成20年度の周知の遺跡内における土木工事の届出は168件あった。慎重工事と教育委員会が具申した工事を除き、実施したのは立会調査90件、試掘1件、確認調査9件、本調査9件である。

第1表 土木工事に関する調査内訳

立会調査	公共工事	9	90	109
	民間事業	81		
試掘調査	公共工事		1	
確認調査	民間事業		9	
本調査	民間事業	2	9	
	個人宅造	7		

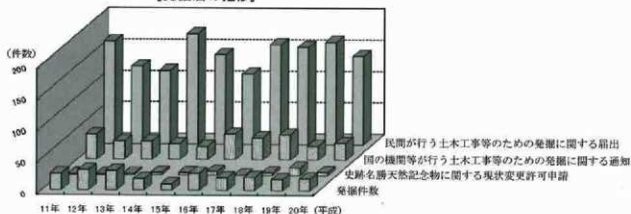
調査原因を事業者別で見ると、公共工事業が10件、民間事業が99件である。事業計画内容の内訳は、公共事業では水道工事8件、道路整備工事1件、解体工事1件、民間事業ではガス工事35件、個人住宅建設18件、水道工事4件、電話工事11件、電気工事8件、集合住宅建設9件、分譲住宅建設6件、宅地造成4件、道路工事1件、店舗建設1件、駐車場造成1件、庭園整備1件である。(第2表)

2. 発掘届の推移

文化財保護法第125条(80条)(史跡名勝天然記念物に関する現状変更許可申請)、第94条(57条の3)(国の機関等が行う土木工事等のための発掘に関する通知)、第93条(57条の2)(民間が行う土木工事等のための発掘に関する届出)の発掘届の推移は以下の通りである。

17年度以降は、大きな件数の増減はなく、ほぼ近似した届出件数で推移している。

【発掘届の推移】



第3表 発掘届件数

(平成)	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
発掘件数	26	32	31	18	10	27	20	21	18	19
125条(80条)	1	1	2	4	4	6	0	4	12	5
94条(57条の3)	40	29	29	25	21	41	35	40	22	27
93条(57条の2)	164	124	117	176	143	112	159	155	163	141

平成20年度の土木工事に関する届出(第93条・第94条)は前節で既述した通りである。史跡名勝天然記念物に関する現状変更許可申請(第125条)は以下の件である。

第4表 史跡名勝天然記念物に関する現状変更内容

施工場所	現状変更内容	件数
史跡武蔵国分寺跡	雨水樹設置舗装工事	1
史跡武蔵国分寺跡	史跡武蔵国分寺跡(僧寺地区)史跡保存整備事業に伴う事前遺構確認調査	1
史跡武蔵国分寺跡	電柱建替工事	1
史跡武蔵国分寺跡	アスファルト舗装面舗装表層打ち替え工事	1
史跡武蔵国分寺跡	消火栓補修工事	1

3. 発掘面積の推移

発掘面積の推移は以下の通りである。平成20年度は、民間開発事業に伴う発掘調査および確認調査が前年度に対して倍増し、公共機関による開発事業に伴う調査は減少した。



第5表 事業別発掘面積

(平成)	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
民間	1932.23	2985.43	3448.17	5396.82	7608.6	465.58	694.74	867.74	270.73	445.14
公共機関	4951.95	8255.94	3707	1114.61	3992.98	4088.25	215.2	0	792.26	153.22
市下水道	64.5	0	110.1	0	0	0	0	0	0	0
個人宅造	138.1	330.74	155.44	144.48	18.71	263.41	322.69	220.15	120.82	206.23
遺構確認調査	213.7	0	207.67	117.25	177.4	1055.4	1456.31	1504.92	628.66	669.04
開発確認調査	0	0	0	0	149.45	430.17	84.55	512.61	276.28	327.63

4. 報告書の刊行

平成20年度に国分寺市教育委員会および国分寺市遺跡調査会が刊行した発掘調査等の報告書は以下の通りである。国庫補助金による発掘調査報告書2冊、保存整備事業報告書1冊、年報1冊である。

第6表 刊行報告書

タイトル	副題	原因
武蔵国分寺跡発掘調査概報 34	東僧坊・僧尼寺区画溝・東山道武蔵路の調査	国分寺市
国指定史跡武蔵国分寺跡	平成19年度保存整備事業に伴う事前遺構確認調査	国分寺市
史跡武蔵国分寺跡（僧寺北東地域）	保存整備事業報告書	国分寺市
平成19年度国分寺市埋蔵文化財調査年報		国分寺市

5. 国庫補助金によって実施した発掘調査・整理作業

平成20年度における国庫補助金によって実施した発掘調査は、20地区である。事業別内訳は史跡武蔵国分寺跡（僧寺地区）事前遺構確認調査4地区、分譲住宅建設等民間開発に伴う確認調査9地区、個人住宅建設に伴う本調査7地区である。

整理作業は、史跡武蔵国分寺跡事前遺構確認調査と、市内遺跡における個人住宅建設及び確認調査の76地区の図面整理と出土遺物の基礎整理作業および報告書作成作業を実施した。

第2表 埋蔵文化財調査内訳一覧(1)

調査No.	申請内容	調査内容	工事面積(m ²)	調査結果	調査日	
1	6	個人住宅	立会	120.75	埋蔵文化財で発見	08.6.19
2	8	電気	立会	148.4	埋蔵文化財で発見	08.4.9
3	21	道路	立会	0.36	-	連絡なし
4	20	集合住宅	確認	367	詳細第2地区	-
5	7	分譲住宅	立会	217	-	連絡なし
6	47	水道	立会	2.4	埋蔵文化財で発見	08.4.30
7	10-19	宅地造成	確認	910	詳細第2地区	-
8	10-19	宅地造成	確認	1204	詳細第2地区	-
9	11	分譲住宅	確認	333	詳細第2地区	-
10	7	電気	立会	0.7	-	連絡なし
11	37	電気	立会	1.4	埋蔵文化財で発見	08.5.23
12	47	ガス	立会	2.5	埋蔵文化財で発見	08.5.8
13	10-19	宅地造成	確認	175	詳細第2地区	-
14	21	電気	立会	2.2	-	連絡なし
15	56	個人住宅	立会	265.46	埋蔵文化財で発見	08.6.17
16	10-19	水道	立会	148.1	埋蔵文化財で発見	08.5.27
17	10-19	ガス	立会	24.3	埋蔵文化財で発見	08.8.16
18	11-19	ガス	立会	86.51	埋蔵文化財で発見	08.6.24
19	11-19	分譲住宅	確認	30	詳細第2地区	-
20	21	個人住宅	本調査	291.0	詳細第2地区	-
21	26	ガス	立会	4	埋蔵文化財で発見	08.6.19
22	3-19	ガス	立会	45.5	埋蔵文化財で発見	08.6.8
23	10-19	水道	立会	4.4	埋蔵文化財で発見	08.5.28
24	19	集合住宅	立会	2004	埋蔵文化財で発見	08.9.17
25	19	水道	立会	2.9	埋蔵文化財で発見	08.8.30
26	10-19	道路	立会	23.4	埋蔵文化財で発見	08.5.28
27	37	水道	立会	3	埋蔵文化財で発見	08.6.4
28	10-19	電気	立会	0.7	埋蔵文化財で発見	08.6.21
29	10-19	電気	立会	4.7	埋蔵文化財で発見	08.7.14
30	9-19	電気	立会	15	-	連絡なし
31	37	水道	立会	3	埋蔵文化財で発見	08.7.2
32	19	分譲住宅	立会	919	埋蔵文化財で発見	08.6.8
33	10-19	ガス	立会	1.4	埋蔵文化財で発見	08.6.12
34	29	水道	立会	2.3	埋蔵文化財で発見	08.6.16
35	11	ガス	立会	3.2	埋蔵文化財で発見	08.7.1
36	2	集合住宅	立会	218.5	埋蔵文化財で発見	08.8.22
37	31	ガス	立会	3.8	埋蔵文化財で発見	08.6.27
38	30	ガス	立会	0.6	埋蔵文化財で発見	08.6.24
39	10-19	集合住宅	立会	227.38	-	連絡なし
40	48	ガス	立会	2.2	埋蔵文化財で発見	08.7.8
41	19	個人住宅	立会	195.8	-	連絡なし
42	21	電話	立会	0.6	-	連絡なし
43	19	水道	立会	3.6	-	連絡なし
44	19	個人住宅	本調査	197.3	詳細第2地区	-
45	19	水道	立会	1.6	埋蔵文化財で発見	08.7.2
46	8	集合住宅	立会	1.8	埋蔵文化財で発見	08.7.22
47	30-51	ガス	立会	97.5	-	連絡なし
48	37	道路	立会	0.4	埋蔵文化財で発見	08.7.23
49	10-19	個人住宅	立会	197	埋蔵文化財で発見	08.9.8
50	19	電気	立会	2.9	-	連絡なし
51	10-19	個人住宅	立会	204	-	連絡なし
52	6	ガス	立会	2.7	埋蔵文化財で発見	08.7.23
53	19	電話	立会	0.7	埋蔵文化財で発見	08.7.28
54	19	道路	立会	0.4	埋蔵文化財で発見	08.7.25
55	26	道路	立会	131.7	埋蔵文化財で発見	08.9.8
56	47	個人住宅	立会	127.88	埋蔵文化財で発見	08.9.30
57	7	電気	立会	2.9	埋蔵文化財で発見	08.6.19

調査No.	申請内容	調査内容	工事面積(m ²)	調査結果	調査日	
58	19	集合住宅	本調査	10299	MKV-645	-
59	11-19	分譲住宅	立会	116.6	埋蔵文化財で発見	08.10.10
60	21	水道	立会	1.6	-	連絡なし
61	33	水道	立会	2.3	-	連絡なし
62	10-19	分譲住宅	立会	188.7	埋蔵文化財で発見	08.9.24
63	10-19	個人住宅	立会	90	埋蔵文化財で発見	08.10.27
64	2	駐車場	立会	20.8	埋蔵文化財で発見	08.8.18
65	57	道路	立会	2439.3	-	連絡なし
66	8	ガス	立会	2	埋蔵文化財で発見	08.9.17
67	8	ガス	立会	2	-	連絡なし
68	19	個人住宅	立会	32.7	埋蔵文化財で発見	08.11.25
69	8	ガス	立会	2	埋蔵文化財で発見	08.9.17
70	8	ガス	立会	2	埋蔵文化財で発見	08.9.16
71	57	ガス	立会	2	-	連絡なし
72	10-19	水道	立会	0.5	-	連絡なし
73	55	公園整備	立会	13910	-	連絡なし
74	2	電気	立会	1.4	埋蔵文化財で発見	08.10.10
75	2	電気	立会	1.4	-	連絡なし
76	54	ガス	立会	2	埋蔵文化財で発見	08.10.11
77	21	ガス	立会	2	埋蔵文化財で発見	08.10.16
78	54	集合住宅	本調査	290.5	NH-10	-
79	10-19	電気	立会	2.2	埋蔵文化財で発見	08.10.29
80	19	ガス	立会	1.7	埋蔵文化財で発見	08.10.8
81	10-19	ガス	立会	42.8	-	連絡なし
82	19	建物解体	立会	75.5	-	連絡なし
83	7	電話	立会	94	埋蔵文化財で発見	08.9.30
84	19	電話	立会	0.4	埋蔵文化財で発見	08.9.18
85	8	ガス	立会	6.5	埋蔵文化財で発見	08.9.18
86	10-19	個人住宅	立会	57.7	埋蔵文化財で発見	08.10.28
87	34	水道	立会	11.2	-	連絡なし
88	54	公園整備	立会	11	-	連絡なし
89	10-19	水道	立会	0.6	-	連絡なし
90	10-19	電話	立会	0.6	-	連絡なし
91	7	個人住宅	立会	82.8	-	連絡なし
92	29	水道	立会	73.3	-	連絡なし
93	57	集合住宅	立会	151.39	埋蔵文化財で発見	08.10.21
94	10-19	ガス	立会	0.7	埋蔵文化財で発見	08.10.30
95	57	個人住宅	立会	125.3	-	連絡なし
96	37	公園整備	立会	47	-	連絡なし
97	10-19	水道	立会	1.1	埋蔵文化財で発見	08.10.6
98	28	電気	立会	9.2	-	連絡なし
99	8	電気	立会	0.7	-	連絡なし
100	19	水道	立会	8	-	連絡なし
101	11-19	分譲住宅	立会	116.19	埋蔵文化財で発見	08.10.10
102	19	ガス	立会	2.1	-	連絡なし
103	5	道路	立会	0.7	埋蔵文化財で発見	08.11.25
104	49	水道	立会	58.4	-	連絡なし
105	19	水道	立会	49.8	埋蔵文化財で発見	08.11.11
106	19	水道	立会	5.4	-	連絡なし
107	10-19	ガス	立会	1.8	埋蔵文化財で発見	08.11.26
108	11-19	個人住宅	立会	66.1	埋蔵文化財で発見	08.12.1
109	2	電気	立会	1.4	-	連絡なし
110	28	ガス	立会	1.2	-	連絡なし
111	18-19	水道	立会	188.2	埋蔵文化財で発見	08.11.6
112	10-19	ガス	立会	1.2	埋蔵文化財で発見	08.11.26
113	18-19	水道	立会	309.6	-	連絡なし
114	2	ガス	立会	2.2	-	連絡なし

第2表 埋蔵文化財調査内訳一覧(2)

通番	通番No	中 内 容	調査内容	工事面積 (㎡)	調査結果	実施日	通番	通番No	中 内 容	調査内容	工事面積 (㎡)	調査結果	実施日
115	37	ガス	立会	2	埋蔵物迄まで既見	08.11.7	142	11・19	ガス	立会	1.6	-	連絡なし
116	2	個人住宅	立会	37.6	GL-60cmで埋込層見	08.12.19	143	2	水道	立会	1.9	GL-100cmで埋込層見	09.2.13
117	10・11	ガス	立会	0.6	-	連絡なし	144	8	集合住宅	確認	102	詳細第2地区の埋込層見	09.2.2
118	14・19	ガス	立会	6.1	埋蔵物迄まで既見	08.11.26	145	56	電気	立会	1	埋蔵物迄まで既見	09.2.17
119	10・19	ガス	立会	2	埋蔵物迄まで既見	08.12.3	146	54	電気	立会	2.9	-	連絡なし
120	19	ガス	立会	2	埋蔵物迄まで既見	08.12.1	147	19	道路	立会	8	埋蔵物迄まで既見	09.2.2
121	19	電話	立会	0.4	埋蔵物迄まで既見	09.2.6	148	19	電気	立会	3.3	-	連絡なし
122	10・19	電話	立会	0.4	-	連絡なし	149	19	ガス	立会	3.2	GL-70cmで埋込層見	08.6.12
123	19	個人住宅	立会	252.3	詳細第2地区の埋込層見	連絡なし	150	19	電話	立会	1	埋蔵物迄まで既見	09.3.3
124	58	個人住宅	立会	48.8	埋蔵物迄まで既見	08.12.15	151	19	水道	立会	17.5	-	連絡なし
125	54	ガス	立会	2	埋蔵物迄まで既見	08.12.10	152	10・19	水道	立会	40	-	連絡なし
126	19	ガス	立会	1.3	埋蔵物迄まで既見	08.12.8	153	19	個人住宅	立会	162.8	埋蔵物迄まで既見	09.3.24
127	8	ガス	立会	1.6	-	連絡なし	154	19	個人住宅	立会	119.6	埋蔵物迄まで既見	09.4.2
128	56	電気	立会	0.63	-	連絡なし	155	57	個人住宅	本調査	101.9	詳細第2地区の埋込層見	09.0.30
129	10・19	防犯設置	立会	27.5	-	連絡なし	156	84	庭園整備	立会	4	埋蔵物迄まで既見	09.3.7
130	10・19	樹設置	立会	2.7	-	連絡なし	157	19	ガス	立会	0.8	-	連絡なし
131	25	電気	立会	0.7	-	連絡なし	158	19	ガス	立会	0.7	-	連絡なし
132	21	水道	立会	1.4	-	連絡なし	159	57	ガス	立会	0.8	埋蔵物迄まで既見	09.3.7
133	2・58	電気	立会	2.4	-	連絡なし	160	19・19	電話	立会	0.4	埋蔵物迄まで既見	09.3.10
134	10・19	電気	立会	1.4	-	連絡なし	161	57	ガス	立会	1.5	L-120cmでローン層見	09.3.30
135	10・19	道路	立会	1330	-	連絡なし	162	37	個人住宅	立会	55.9	-	連絡なし
136	19	ガス	立会	0.6	埋蔵物迄まで既見	09.1.15	163	19・19	電気	立会	1.4	埋蔵物迄まで既見	09.4.7
137	47	ガス	立会	2.3	埋蔵物迄まで既見	09.2.3	164	21	水道	立会	1.4	埋蔵物迄まで既見	09.4.2
138	2	ガス	立会	4.3	埋蔵物迄まで既見	09.1.13	165	56	個人住宅	立会	112.9	-	連絡なし
139	19	集合住宅	立会	11	-	連絡なし	166	3	個人住宅	本調査	154.7	平成20年度事業	
140	47	電話	立会	0.4	埋蔵物迄まで既見	09.2.4	167	19	個人住宅	本調査	218.1	平成20年度事業	
141	54	庭園整備	立会	8	-	連絡なし	168	21	ガス	立会	1.8	埋蔵物迄まで既見	09.4.17

遺跡別埋蔵文化財調査件数

遺跡No.	発掘・調査			調査			調査		
	発掘	調査	調査	調査	調査	調査	調査	調査	
3	1	1	1	1	1	1	1	1	
5	1	1	1	1	1	1	1	1	
6	1	1	1	1	1	1	1	1	
7	1	1	1	1	1	1	1	1	
8	1	1	1	1	1	1	1	1	
10	1	1	1	1	1	1	1	1	
11	1	1	1	1	1	1	1	1	
12	1	1	1	1	1	1	1	1	
13	1	1	1	1	1	1	1	1	
14	1	1	1	1	1	1	1	1	
15	1	1	1	1	1	1	1	1	
16	1	1	1	1	1	1	1	1	
17	1	1	1	1	1	1	1	1	
18	1	1	1	1	1	1	1	1	
19	1	1	1	1	1	1	1	1	
20	1	1	1	1	1	1	1	1	
21	1	1	1	1	1	1	1	1	
22	1	1	1	1	1	1	1	1	
23	1	1	1	1	1	1	1	1	
24	1	1	1	1	1	1	1	1	
25	1	1	1	1	1	1	1	1	
26	1	1	1	1	1	1	1	1	
27	1	1	1	1	1	1	1	1	
28	1	1	1	1	1	1	1	1	
29	1	1	1	1	1	1	1	1	
30	1	1	1	1	1	1	1	1	
31	1	1	1	1	1	1	1	1	
32	1	1	1	1	1	1	1	1	
33	1	1	1	1	1	1	1	1	
34	1	1	1	1	1	1	1	1	
35	1	1	1	1	1	1	1	1	
36	1	1	1	1	1	1	1	1	
37	1	1	1	1	1	1	1	1	
38	1	1	1	1	1	1	1	1	
39	1	1	1	1	1	1	1	1	
40	1	1	1	1	1	1	1	1	
41	1	1	1	1	1	1	1	1	
42	1	1	1	1	1	1	1	1	
43	1	1	1	1	1	1	1	1	
44	1	1	1	1	1	1	1	1	
45	1	1	1	1	1	1	1	1	
46	1	1	1	1	1	1	1	1	
47	1	1	1	1	1	1	1	1	
48	1	1	1	1	1	1	1	1	
49	1	1	1	1	1	1	1	1	
50	1	1	1	1	1	1	1	1	
51	1	1	1	1	1	1	1	1	
52	1	1	1	1	1	1	1	1	
53	1	1	1	1	1	1	1	1	
54	1	1	1	1	1	1	1	1	
55	1	1	1	1	1	1	1	1	
56	1	1	1	1	1	1	1	1	
57	1	1	1	1	1	1	1	1	
58	1	1	1	1	1	1	1	1	
59	1	1	1	1	1	1	1	1	
60	1	1	1	1	1	1	1	1	
61	1	1	1	1	1	1	1	1	
62	1	1	1	1	1	1	1	1	
63	1	1	1	1	1	1	1	1	
64	1	1	1	1	1	1	1	1	
65	1	1	1	1	1	1	1	1	
66	1	1	1	1	1	1	1	1	
67	1	1	1	1	1	1	1	1	
68	1	1	1	1	1	1	1	1	
69	1	1	1	1	1	1	1	1	
70	1	1	1	1	1	1	1	1	
71	1	1	1	1	1	1	1	1	
72	1	1	1	1	1	1	1	1	
73	1	1	1	1	1	1	1	1	
74	1	1	1	1	1	1	1	1	
75	1	1	1	1	1	1	1	1	
76	1	1	1	1	1	1	1	1	
77	1	1	1	1	1	1	1	1	
78	1	1	1	1	1	1	1	1	
79	1	1	1	1	1	1	1	1	
80	1	1	1	1	1	1	1	1	
81	1	1	1	1	1	1	1	1	
82	1	1	1	1	1	1	1	1	
83	1	1	1	1	1	1	1	1	
84	1	1	1	1	1	1	1	1	
85	1	1	1	1	1	1	1	1	
86	1	1	1	1	1	1	1	1	
87	1	1	1	1	1	1	1	1	
88	1	1	1	1	1	1	1	1	
89	1	1	1	1	1	1	1	1	
90	1	1	1	1	1	1	1	1	
91	1	1	1	1	1	1	1	1	
92	1	1	1	1	1	1	1	1	
93	1	1	1	1	1	1	1	1	
94	1	1	1	1	1	1	1	1	
95	1	1	1	1	1	1	1	1	
96	1	1	1	1	1	1	1	1	
97	1	1	1	1	1	1	1	1	
98	1	1	1	1	1	1	1	1	
99	1	1	1	1	1	1	1	1	
100	1	1	1	1	1	1	1	1	

第2章 平成20年度埋蔵文化財調査の概要

調査の概要

個人住宅建設に伴う調査は、武蔵国分寺跡5件、殿ヶ谷戸遺跡1件、恋ヶ窪東遺跡1件の計7件である。排水管地下埋設部分および建物基礎埋設部を対象として調査を行った。

開発計画に伴う確認調査は、武蔵国分寺跡で6件、花沢西遺跡で1件、殿ヶ谷戸北遺跡で1件、花沢東遺跡で1件の計9件である。このうち武蔵国分寺跡で3件(⑥～⑧地区)、花沢東遺跡で1件(⑬地区)が本調査に移行した。個人宅造・確認調査併せて、寺院地内で5件、寺院地外で6件である。

発見遺構と出土遺物

歴史時代の調査は、⑥地区以外の調査地は、武蔵国分寺跡の中でも遺構の検出が希薄な地域に位置し、平成20年度は全体的に遺構の検出数は少なかった。その中で⑥地区は、堅穴住居が重複して検出され、従来から修理院に比定されている市立第四中学校近接地として繁多な土地利用状況が伺えた。寺院地外であるが、④地区でも10世紀の堅穴住居が検出され、住居が増大する時期に属する遺構である。逆に花苑院に想定されている僧寺寺院地南東地域では、⑦地区で歴史時代の溝跡が検出された他は遺構が検出されず、従来通り、花苑院としての性格付けが強まった。また、遺構があまり検出されなかった⑩・⑪地区では、⑩地区のトレンチ内で地山の傾斜が見られ、当該地から恋ヶ窪谷の谷壁が広がることが分かった。⑪地区では、国分寺崖線下に野川の旧流路における堆積土が確認された。以上の2地区から、旧地形を確認することができた。

縄文時代の調査では、⑭地区で、陥穴が検出され、住居等の遺構の検出が少なかったため、殿ヶ谷戸谷へ向かう緩斜面中に住居や集落を避けて狩猟場を設けた様子が看取できた。

旧石器時代の調査は、⑬地区は、遺構は検出されなかったがVI層下層でチャート剥片1点が検出された。⑭地区では、IV層中から礫18点から成る石器集中地点が検出された。国分寺崖線と殿ヶ谷戸谷に囲まれた谷上に位置する⑬地区では、調査区北西部のVa層中から礫8点から成る石器集中地点が検出された。

まとめ

武蔵国分寺跡における調査は、寺院地内の地区では、従来遺構の密度が低い寺院地南東地域に位置していることもあり、また調査対象範囲も狭小であるため遺構はあまり検出されなかった。それに対して寺院地南西地域の2地区は、修理院跡に比定される地域に近いこともあり、10世紀代の堅穴住居が複数検出され、衰退期における寺院地の集落の様相を窺うことのできる資料を得ることとなった。その他の市内遺跡では、殿ヶ谷戸谷を睨見する殿ヶ谷戸遺跡・花沢東遺跡の段丘上の調査区で、旧石器・縄文時代の遺構・遺物が多数検出された。花沢東遺跡では、確認調査から本調査へ移行し、石器集中地点および礫群が多く検出されたことから、旧石器時代において、台地上奥部よりも、湧水点により近く日照条件の良い斜面付近を好む立地傾向が看取できた。

平成20年度 調査地区一覧

第7表 武蔵園分寺跡(遺跡No.10・19) 個人宅造に伴う本発掘調査

地区番号	調査回数	調査原因	所在地	面積 (㎡)			現地調査期間	検出遺構	遺物箱数
				調査	工事	対象			
①	632	個人宅造地	東元町4丁目 6-17	5.20	55.75	109.63	H20.4.25 (1日曜)	検出遺構なし	0
②	633	個人宅造地	西元町3丁目 2-7	9.24	60.07	124.95	H20.5.7~H20.5.8 (2日曜)	検出遺構なし	0
③	638	個人宅造地	泉町1丁目5- 11	19.36	131.23	498.68	H20.6.11~H20.6.17 (4日曜)	検出遺構なし	0
④	643	個人宅造地	西元町3丁目 5-14	60.89	166.56	197.28	H20.9.24~H20.10.27 (20日曜)	住居1軒、小穴6基	3
⑤	646	個人宅造地	東元町4丁目 1806-3	10.15	77.42	252.28	H21.2.9 (1日曜)	検出遺構なし	0
面積合計				104.84	481.03	1182.82		箱数合計	3

第8表 武蔵園分寺跡(遺跡No.10・19) 分譲住宅建設に伴う確認調査

地区番号	調査回数	調査原因	所在地	面積 (㎡)			現地調査期間	検出遺構	遺物箱数
				調査	工事	対象			
⑥	630	分譲住宅建設	西元町2丁目 2244-1	107.26	1,015.15	1,084.00	H20.4.9~H20.4.18 (7日曜)	歴史関連建物1棟、住居2軒、溝1条、土坑2基、特殊遺構1基、小穴20基	1
⑦	634	分譲住宅建設	東元町4丁目 1937-1	48.86	1,278.18	1,304.00	H20.5.13~H20.7.23 (8日曜)	歴史溝1条	0
⑧	635	分譲住宅建設	東元町4丁目 1938-5	48.00	910.08	910.00	H20.5.13~H20.7.23 (8日曜)	溝文庫石1基	0
⑨	636	分譲住宅建設	西元町2丁目 2544-16	1.39	98.61	233.04	H20.5.26~H20.5.28 (3日曜)	検出遺構なし	0
⑩	637	宅地造成	西元町2丁目 1648-1	24.76	175.50	175.50	H20.5.21~H20.5.30 (7日曜)	歴史土坑4基、小穴1基	1
⑪	639	分譲住宅建設	西元町2丁目 2544-17	0.70	50.02	116.63	H20.6.9~H20.6.11 (3日曜)	歴史小穴1基	1
面積合計				230.97	3,527.54	3,823.17		箱数合計	3

第9表 花沢西遺跡(遺跡No.8) 分譲住宅建設に伴う確認調査

地区番号	調査回数	調査原因	所在地	面積 (㎡)			現地調査期間	検出遺構	遺物箱数
				調査	工事	対象			
⑫	21	分譲住宅建設	南町3丁目 28-6	5.37	62.10	102.00	H21.3.16 (1日曜)	検出遺構なし	1
面積合計				5.37	62.10	102.00		箱数合計	1

第10表 殿ヶ谷戸北遺跡(遺跡No.20) 分譲住宅建設に伴う確認調査

地区番号	調査回数	調査原因	所在地	面積 (㎡)			現地調査期間	検出遺構	遺物箱数
				調査	工事	対象			
⑬	2	集合住宅建設	南町1丁目 311-12	34.18	183.00	367.00	H20.6.2~H20.6.11 (6日曜)	検出遺構なし	1
面積合計				34.18	183.00	367.00		箱数合計	1

第11表 殿ヶ谷戸遺跡(遺跡No.21) 個人宅造に伴う確認調査

地区番号	調査回数	調査原因	所在地	面積 (㎡)			現地調査期間	検出遺構	遺物箱数
				調査	工事	対象			
⑭	11	個人宅造地	南町2丁目 10-23	96.17	105.13	294.99	H20.6.19~H20.7.9 (13日曜)	(旧石蔵)石蔵集中地点1箇所 (縄文)埋溝1基、土坑3基、小穴20基	1
面積合計				96.17	105.13	294.99		箱数合計	1

第12表 花沢東遺跡(遺跡No.54) 分譲住宅建設に伴う確認調査

地区番号	調査回数	調査原因	所在地	面積 (㎡)			現地調査期間	検出遺構	遺物箱数
				調査	工事	対象			
⑮	8	集合住宅建設	南町3丁目 2681- 33.108	57.11	169.60	566.98	H20.6.4~H20.6.16 (7日曜)	(旧石蔵)石蔵集中地点1箇所 (縄文)土庫1基、小穴1基	1
面積合計				57.11	169.60	566.98		箱数合計	1

第13表 恋ヶ窪東遺跡(遺跡No.57) 個人宅造に伴う本発掘調査

地区番号	調査回数	調査原因	所在地	面積 (㎡)			現地調査期間	検出遺構	遺物箱数
				調査	工事	対象			
⑯	20	個人宅造地	本町4丁目 21-24	7.21	57.43	101.92	H21.3.3~H21.3.4 (2日曜)	検出遺構なし	0
面積合計				7.21	57.43	101.92		箱数合計	0

①武蔵国分寺跡第632次調査 個人宅造地

所在地 国分寺市東元町4丁目6-17

調査面積 5.20 m²

調査期間 平成20年4月25日(1日間)

担当者 立川 明子

調査概要

調査区は、僧寺中軸線から約348m東方の寺院地南東地域に位置する。調査の対象は排水管理設により遺構に影響が及ぶ範囲である。当該個所にトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。地表下約60cmの掘削深度までほぼ全面攪乱を受けていた。東側のL字型トレンチ部分で地山



1. 調査区全景 東から

(Ⅲb層)を検出したが、遺構は検出されなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。

②武蔵国分寺跡第633次調査 個人宅造地

所在地 国分寺市西元町3丁目2-7

調査面積 9.24 m²

調査期間 平成20年5月7日～5月8日(2日間)

担当者 立川 明子

調査概要

調査区は、僧寺中軸線から約216m東方の寺院地外南東地域に位置する。調査の対象は、排水管理設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該個所にトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。西側から中央部にかけて地表下60cmの掘削深度まで攪乱を受けていた。調査区の東側で部分的に地山(Ⅲb層)を検出したが、遺構は検出されなかった。



1. 調査区全景 東から



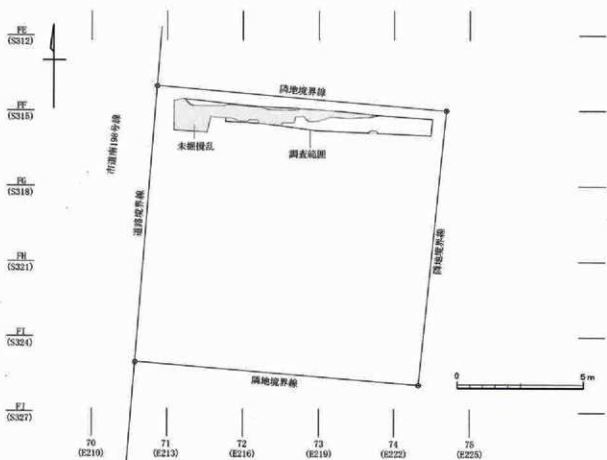
2. 調査区全景 西から

出土遺物

遺物は出土しなかった。



①地区 第632次調査区全体図



②地区 第633次調査区全体図

③武蔵国分寺跡第638次調査 個人宅造地

所在地	国分寺市泉町1丁目5-11	調査面積	19.36㎡
調査期間	平成20年6月11日～6月17日(4日間)	担当者	立川 明子

調査概要

調査区は武蔵野段丘上、恋ヶ窪谷の西側谷壁際に位置する。調査の対象は、建物基礎埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該個所にトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。地表面下約60～110cmまで盛土が堆積し、盛土下から地山(Ⅲc層)が検出した。地山は北東方向に向かって傾斜し、当調査区内の北東部から恋ヶ窪谷の落ち込みが広がることが確認できた。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. 調査区全景 南から



2. 調査区全景 北から

⑤武蔵国分寺跡第646次調査 個人宅造地

所在地	国分寺市東元町4丁目1806-3	調査面積	10.15㎡
調査期間	平成21年2月9日(1日間)	担当者	立川 明子

調査概要

調査区は僧寺寺院地中軸線から約480m東方の、寺院地外東方地域に位置する。調査の対象は、排水管理設により遺構に影響が及ぶ範囲である。当該個所にトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。地表下約60cmで地山(Ⅲc層)を検出し、遺構確認を行った。調査区内は擾乱が多くおよんでおり、遺構は検出されなかった。

出土遺物

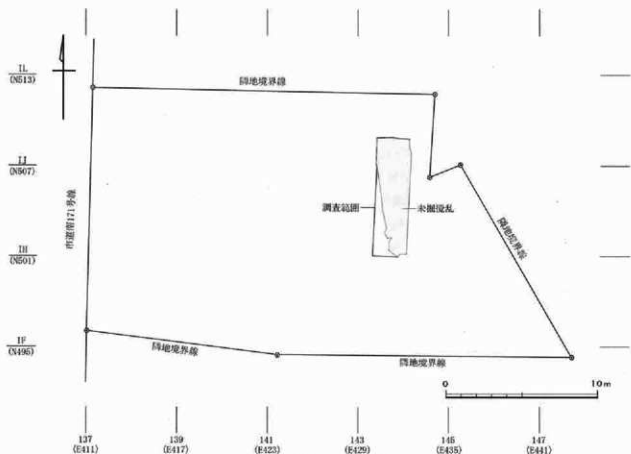
遺物は出土しなかった。



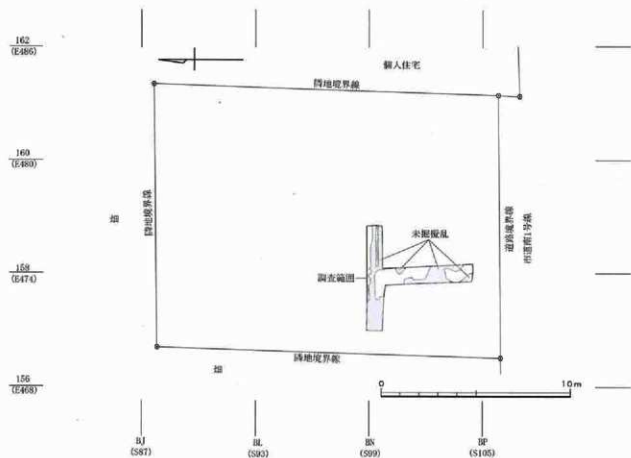
1. 調査区全景 東から



2. 調査区全景 南から



③地区 第638次調査区全体図



⑤地区 第646次調査区全体図

④武蔵国分寺跡第643次調査 個人宅遺地

所在地 国分寺市西元町3丁目5-14

調査面積 60.89㎡

調査期間 平成20年9月24日～10月27日(20日間)

担当者 小野本 敦

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約120m西方に位置し、寺院地外南西地域に位置する。調査の対象は、建物部分の地盤改良により遺構に影響の及ぶ範囲である。当該個所にトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

検出された遺構は、平安時代の竪穴住居跡1軒(SI802)、小穴6基(P-1～P-6)である。

SI802は、東西約3.8m・南北約3.2mを測り、平面形態は南西隅が張り出す不定形な隅丸方形を呈している。北壁に竈を設置していたと考えられるが、現代の攪乱により壊されており、付近には竈の構築部材と考えられる瓦片が集中して出土している。出土した須恵器の年代から、10世紀ころの竪穴住居跡と考えられる。

武蔵国分寺は10世紀代には衰退期を迎え、寺院地内に一般の住居である竪穴住居が進出する。SI802は当該期に営まれた住居跡であり、衰退期を考える上で貴重な資料を得ることとなった。

出土遺物

SI802からは、土師器甕(PH01)須恵器坏(PK01)、土師質土器坏(PL01～04)、灰釉陶器碗(PN01)、男瓦(KC01)、女瓦(KD01～03)が出土した。須恵器はいずれも、底径が小さく、10世紀以降の所産と考えられる。灰釉陶器碗は、器形から黒笹9号窯式に相当する。



1. 調査区全景北半 西から



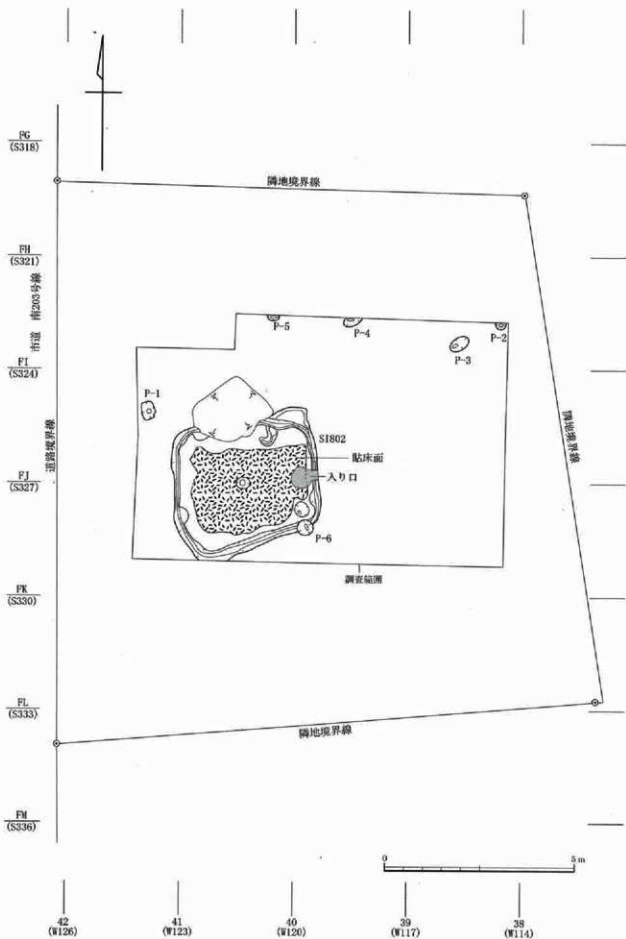
2. 調査区全景南半 北から



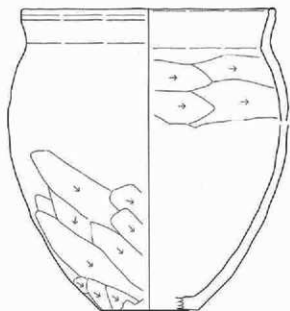
3. SI802 使用時全景 北から



4. SI802 遺物出土状況 北から



④地区 第643次調査区全体図



643 SI802 PH01



643 SI802 PK01



643 SI802 PL01



643 SI802 PL02



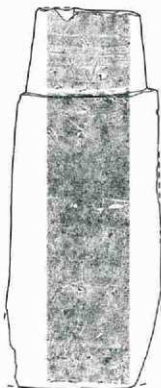
643 SI802 PL04



643 SI802 PL03



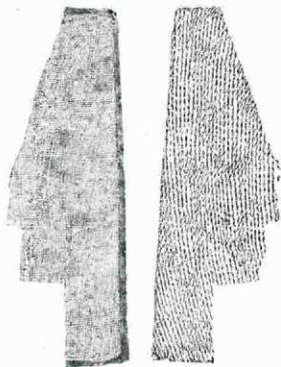
643 SI802 PN01



643 SI802 KC01



643 SI802 KD02



643 SI802 KD03



643 SI802 KD01

歴史時代 土器一覧

遺物番号	種別 形態	出土 位置	口徑 器高 底径 高台高	器形の特徴	成・装形の特徴	備考
643-PI01	灰土器B 杯	S1802 覆土	(12.0) 3.5 2.8 —	腰部やや内湾気味に立ちあがり、口縁部やや外反。	口ワ成軌。底部回転糸切り 後、無調整。	淡褐色。軟質。砂粒少量混入。内面灰黄あり。
643-PI01	土師質 土器 杯	S1802 覆土	11.7 3.7 4.7 —	腰部直線的に立ちあがる。口 縁部肥厚。	口ワ成軌。底部糸切り種し流 無調整。	淡褐色。やや硬質。小石少量混入。
643-PI02	土師質 土器 杯	S1802 覆土	12.0 4.0 4.4 —	腰部やや内湾気味に立ちあがり。	口ワ成軌。底部回転糸切り 後、無調整。	褐色～赤褐色。軟質。砂粒少量混入。内面灰黄あり。
643-PI03	土師質 土器 杯	S1802 覆土	11.8 4.0 4.8 —	腰部直線的に立ちあがる。	口ワ成軌。底部回転糸切り 後、無調整。	褐色。軟質。砂粒少量混入。
643-PI04	土師質 土器 杯	S1802 覆土	12.2 4.3 4.6 —	腰部直線的に立ちあがる。	口ワ成軌。底部糸切り種し流 無調整。	褐色。軟質。金沢母・砂粒少量混入。
643-PI01	灰土器 陶 埴	S1802 覆土	— (3.1) (8.3) 0.2	高台三日月形を呈する。	口ワ成軌。底部糸切り種し流 無調整。素台貼り付け。	灰白色。硬質。緑面。腰部内外面へら削り。底部内面 磨光。

男瓦一覧

遺物番号	出土 位置	張幅 広端 全長	厚さ	成・装形の特徴						備考
				凹面			凸面			
				素材	筋目	断面	筋目	断面	特徴	
643-KC01	S1802 覆土	(4.6) (12.3) 49.1	1.3	粘土埴	21×21	凹面縁一面 へら削り。	—	全面縁へら削 り。	凹面縁一面 へら削り。	技法 I 1-A1。灰褐色。硬質。砂粒少量混 入。灰縁側に欠損。

女瓦一覧

遺物番号	出土 位置	張幅 広端 全長	厚さ	成・装形の特徴						備考
				凹面			凸面			
				素材	筋目	断面	筋目	断面	特徴	
643-KD01	S1802 覆土	(4.9) (6.3) 38.3	2.1	粘土埴	21×17	凹・凸・灰面 縁一面へら削 り。	筋目 L8本	—	凹・凸・灰面 縁一面へら 削り。	技法 II 1-A1。灰褐色。硬質。砂粒少量混入。
643-KD02	S1802 覆土	— — (10.5)	1.6	粘土板?	35×34	凹面縁一面 へら削り。	筋目 L11本	両背「天」	凹面縁一面 へら削り。	技法 II 1-10。暗灰黄色。砂粒少量混入。
643-KD03	S1802 覆土	— — (12.9)	2.4	粘土板?	—	凹面縁一面 へら削り。	正格子	不明押型	凹面縁一面 へら削り。	技法 II 2-10。暗灰黄色。砂粒・両背背針少量 混入。

⑥武蔵国分寺跡第630次調査 確認調査

所在地	国分寺市西元町2丁目2244-1	調査面積	107.26㎡
調査期間	平成20年4月9日～4月18日(7日間)	担当者	小野本 敦

調査概要

調査区は寺院地中軸線から約150m西方の、寺院地西方地域に位置する。「修理院比定地」である市立第四中学校に隣接している。調査の対象は、浸透耕埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にはトレンチを設定し遺構の確認調査を行った。

地表下40cmで地山(IIIb層)を検出し遺構確認を行った。検出された遺構は、堅穴住居跡2軒(SI800・801)、土坑2基(SK3338・3339)、溝1条(SD414)、掘立柱建物跡1棟(SB233)、特殊遺構1基(SX309)、小穴20基である。

SI800は、攪乱を受けており規模は不明である。SI801は、東西幅1.9m以上、南北幅3.15mで、東辺に竈を有する。SK3338は、東西幅55cm以上、南北幅80cmで、平面円形を呈する。SK3339は、東西幅90cm、南北幅40cm以上で、平面楕円形を呈し、SI801を切っている。SB233は、3基の柱穴が確認されている。SX309は、SI801に切られている。南北・東西幅は1.5m以上である。SD414は、東西溝で、幅約55cm、調査区を約5.9m走行している。小穴は、規則性がなく、相互の関連は不明である。



1. A トレンチ全景 南から

出土遺物

SI801 から、須恵器 B 高台付埴 (PK02)、灰軸陶器皿 (PN01)、女瓦 (KD01) が出土した。表土・攪乱からは須恵器 A 高台付埴 (PK01)、土師質土器蓋 (PL01)、土師質土器高台付埴 (PL02)、



2. A トレンチ全景 北から

灰軸陶器皿 (PN02)、男瓦 (KC01・02) が出土した。



3. B トレンチ全景 北から



4. SI801 住居確認状況 北から



⑥地区 第630次調査区全体図



630 SI801 PK02



630 遺構外 PK01



630 遺構外 PL01



630 SI801 PN01



630 遺構外 PN02



630 遺構外 PL02



630 SI801 KD01



630 遺構外 KC02



630 遺構外 KC01

歴史時代 土器一覽										
遺物番号	形別 形態	出土 位置	口徑 底徑	器高 底高	器形の特徴	成・器形の特徴	備考			
630-PK01	羽志型A 高台付焼	板瓦	—	(3.3) (0.2)	0.7	体部下端内溝気味に立ちあがる。 高台三角形を呈し、字状に広がる。	ロクロ成形。高台貼付。	灰褐色。硬質。白色粒多量混入。		
630-PK02	羽志型B 高台付焼	SI801 埋土	—	(2.3) (0.4)	1.6	高台三角形を呈する。	ロクロ成形。高台貼付。	淡褐色。硬質。白色粒混入。		
630-PL01	土師貫土器 蓋	埋瓦	径16.00	(1.5)	—	口縁部やや外反気味。口唇部やや内折。	ロクロ成形。口唇部縮子ノリ調整。	淡緑色。軟質。緻密。		
630-PL02	土師貫土器 高台付焼	板瓦	—	(2.8) (0.0)	1.2	高台三角形を呈する。	ロクロ成形。高台貼付。	緑茶褐色。硬質。砂粒少量混入。		
630-PN01	灰燻陶器 蓋	SI801 埋土	—	(1.4) (0.4)	0.3	高台狭い三日月形を呈する。	ロクロ成形。底縁半切の縮し。縁無調整。高台張り付け。	灰白色。硬質。緻密。		
630-PN02	灰燻陶器 蓋	表土	—	(1.7) (0.4)	0.5	高台三日月形を呈する。	ロクロ成形。底縁半切の縮し。縁無調整。高台張り付け。	灰白色。硬質。緻密。		
男瓦一覽										
遺物番号	出土 位置	狭径 底径 全長	厚さ	成・器形の特徴						備考
				凹面			凸面			
				素材	寸目	特徴	寸目	特徴	寸目	
630-KC01	表土	(10.8) (4.6)	2.4	—	20×30	底縁部一面へく削り。	—	鈍ゆき縮子ノリ調整。	底面由不明へく削り。	灰黄色。やや軟質。砂粒少量混入。
630-KC02	表土	(1.2) (6.8)	2.3	—	24×28	—	—	同目 径12本目	—	灰色。硬質。砂粒少量混入。
女瓦一覽										
遺物番号	出土 位置	狭径 底径 全長	厚さ	成・器形の特徴						備考
				凹面			凸面			
				素材	寸目	特徴	寸目	特徴	寸目	
630-KD01	SI801 埋土	(6.9)	2.2	—	(21×21)	押印「福」	—	同目 径12本目	—	暗褐色。やや硬質。砂粒・海面骨針少量混入。

⑦武蔵国分寺跡第634次調査 確認調査

所在地	国分寺市東元町4丁目 1937-1	調査面積	48.86 m ²
調査期間	平成20年5月13日～7月23日(8日間)	担当者	立川 明子

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約351m東方で約30m南方に寺院地南辺区画溝(SD17)が走行する寺院地南東地域である。調査は、浸透枡の埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲にトレンチを設定し遺構確認を行った。Aトレンチから溝跡(SD37)が確認された。SD37は幅員1.55mである。SD37は近隣の調査で確認されており、南辺区画溝埋没後に掘削されているのが確認されている。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. Aトレンチ全景 東から



2. Aトレンチ全景 北から

⑧武蔵国分寺跡第635次調査 確認調査

所在地	国分寺市東元町4丁目 1938-5	調査面積	48.00 m ²
調査期間	平成20年5月13日～7月23日(8日間)	担当者	立川 明子

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約399m東方に位置する。調査は、浸透枡の埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲にトレンチを設定し遺構確認を行った。Dトレンチから縄文時代の集石遺構1基(SS113)を検出した。縄文時代の遺構が希薄な立川段丘上において、当該期の遺構の存在を伺わせる好資料を得ることとなった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



3. Dトレンチ全景 西から



4. Dトレンチ全景 南から

141
(E423)

137
(E411)

133
(E399)

129
(E387)

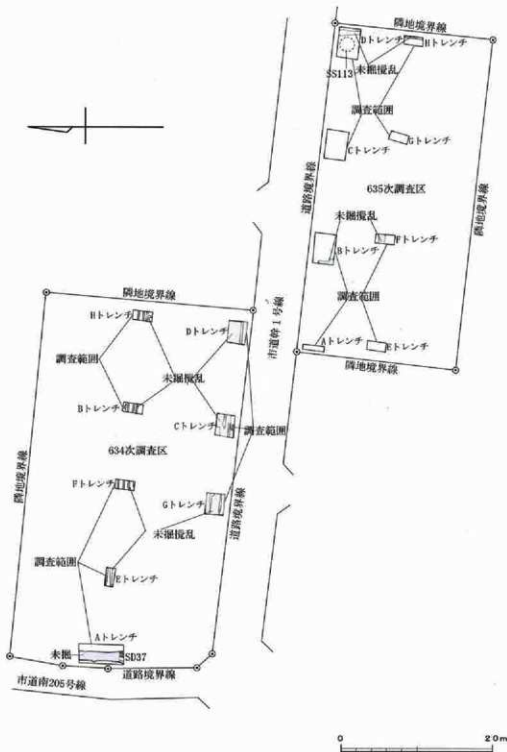
125
(E375)

121
(E363)

117
(E351)

113
(E339)

109
(E327)



ED
(S249)

EH
(S261)

EL
(S273)

EP
(S285)

ET
(S297)

FD
(S309)

⑦・⑧地区 第634・635次調査区全体図

⑨武蔵国分寺跡第636次調査 確認調査

所在地	国分寺市西元町2丁目2544-16	調査面積	1.39㎡
調査期間	平成20年5月26日～5月28日(3日間)	担当者	立川 明子

調査概要

調査区は、武蔵野段丘上で、東山道武蔵道(SF1)から約30m東方に位置する。排水管理設によって遺構に影響の及ぶ範囲にA・Bトレンチを設定し遺構確認を行った。地表下約60cmで地山(Ⅲb層)を確認し遺構確認を行った。調査面積が非常に狭小であるため、当該地域の特性を明らかにするに至らなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. Aトレンチ全景 東から



2. Bトレンチ全景 北から

⑩武蔵国分寺跡第639次調査 確認調査

所在地	国分寺市西元町2丁目2544-16	調査面積	0.70㎡
調査期間	平成20年6月9日～6月11日(3日間)	担当者	立川 明子

調査概要

調査区は、⑨地区の隣接地である。排水管理設によって遺構に影響が及ぶ範囲にトレンチを設定し遺構確認を行った。調査区は、地表面下0.6mで地山(Ⅲb層)が検出された。遺構は小穴1基(P-1)が検出された。平面形は楕円形を呈し、深さは確認面から30cmである。調査区が狭小であるため小穴の性格は不明である。

出土遺物

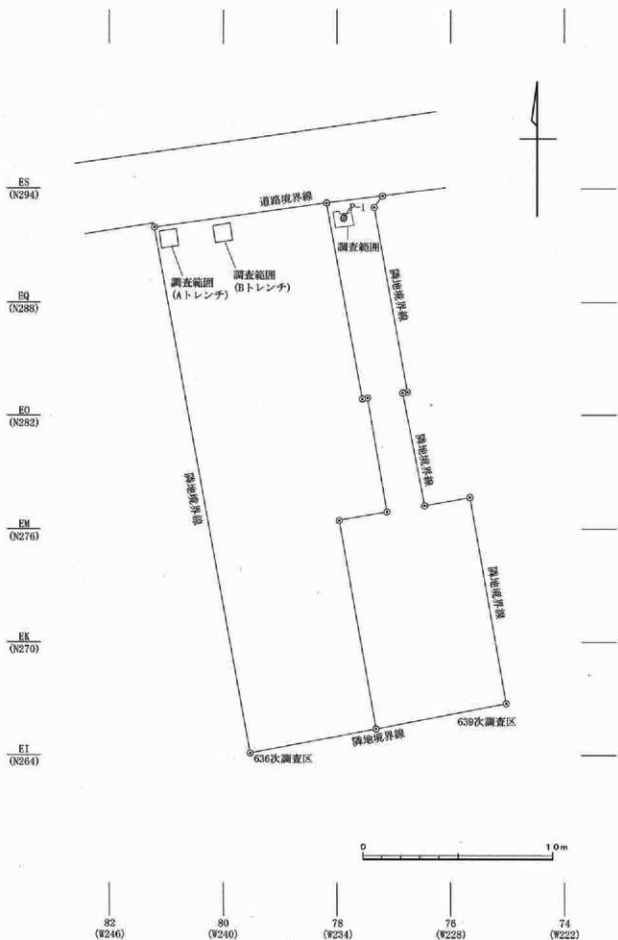
表土から女瓦片2点が出土した。



3. 調査区全景 東から



4. 調査区全景 北から



⑨・⑩地区 第636・639次調査区全体図

⑩武蔵国分寺跡第637次調査 確認調査

所在地	国分寺市西元町2丁目1648-1	調査面積	24.76㎡
調査期間	平成20年5月21日～5月30日(7日間)	担当者	立川 明子

調査概要

調査区は国分寺崖線直下の立川段丘上、武蔵国分僧寺伽藍地西辺区画溝(SD23)の約35m西方の寺院地外北西地域に位置する。調査の対象は、宅地造成工事に伴う盛土によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該個所にトレンチを設定し確認調査を行った。

調査区は、地表下約15～25cmまで耕作土が、その下層にはローム粒子を多く含む粗粒の暗褐色土が堆積していた。調査区北側では地表下約40cm、調査区南側では地表下約100cmで、奈良・平安時代の遺物包含層であるⅢa層に類似した層を検出した。当地域は、近代まで水が流れていたという話もあり、暗褐色土は野川支流の堆積土である可能性が考えられる。遺構は、土坑4基(SK3340～3343)、小穴1基(P-1)が検出された。SK3340は、東西幅60cm以上、南北幅110cm以上で平面長方形を呈する。SK3341は、SK3340に切られているため規模は不明である。SK3342は、東西幅60cm以上、南北幅80cm以上、SK3343は、東西幅60cm以上、南北幅60cmである。両者とも平面隅丸方形を呈する。

出土遺物

遺構に伴う遺物は出土しなかった。表土から須恵器A坏(PK01)、須恵器A蓋(PK02)、灰釉陶器壺(PN01)、宇瓦(KB01)、女瓦(KD01)が出土した。



1. 調査区全景 東から



2. 調査区全景 北から



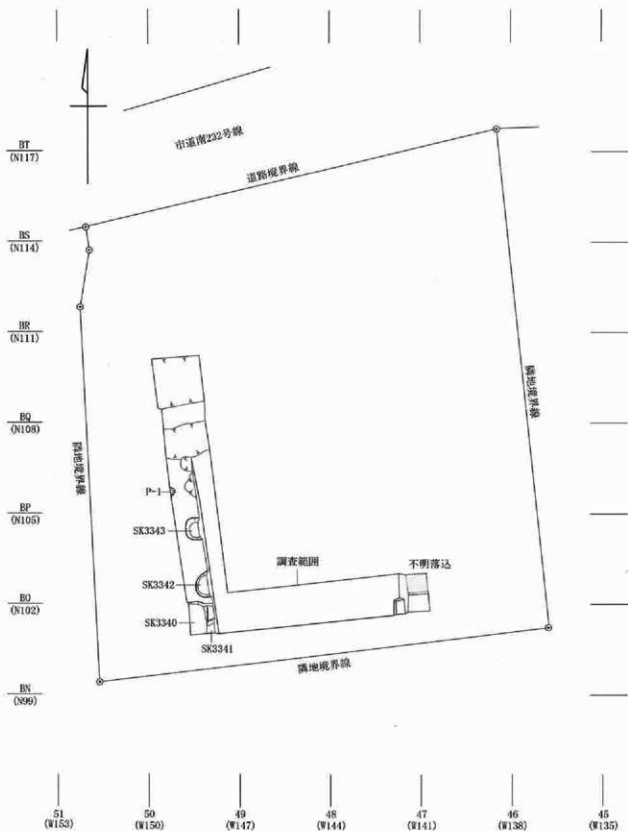
3. SK3340・3341 土坑全景 東から



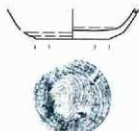
4. SK3342 土坑全景 北から



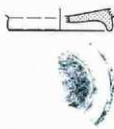
5. SK3343 土坑全景 北から



④地区 第637次調査区全体図



637 遺構外 PK01



637 遺構外 PN01



637 遺構外 PK02



637 遺構外 KD01



637 遺構外 KB01

歴史時代 土器一覧																								
遺物番号	種類 形態	出土 位置	口徑 器高 底径 高台高	器形の特徴	成・整形の特徴	備考																		
							637-PK01	須恵器A 罎	表土	— (2.33 6.0)	体底下部内筒気味に立ちあがる。	口口の産成。底面回転糸切り状、周縁回転へう張り。	灰褐色。硬質。白色粒多量混入。											
637-PK02	須恵器A 蓋	表土	— (1.4)	扁平な半球状つまみ。	底面回転へう張り刷毛。	白白色。硬質。白色粒子・薄綿着針少量混入。																		
637-PN01	灰輪 陶器 碗	表土	— (1.7) (7.8) 0.7	高台三日月形を呈する。	口口の産成。底面糸切り刷毛無調登。高台貼り付け。	灰白色。硬質。緻密。																		
宇瓦一覧																								
遺物番号	出土 位置	上笠強幅 F收強幅 強深	厚さ	内区		外区		縁区	文様 深さ	全長	備考													
				厚さ	文様	厚さ	文様					厚さ	文様	幅	文様									
637-KB01	表土	(4.5) (4.6) (9.1)	5.2	3.3	KK	0.4	a	1.5	a	—	—	0.3	(8.6)	張の形器同し。灰褐色。硬質。白色粒子多量混入。										
女瓦一覧																								
遺物番号	出土 位置	長短 広幅 全長	厚さ	成・整形の特徴						備考														
				裏目	布目	唇面	唇面 特徴	凸面 特徴	唇面 特徴															
637-KD01	表土	— (5.4)	2.0	—	28×36	—	—	押型「男」?	—	暗褐色。硬質。砂粒・陶筋着針少量混入。														

⑫花沢西遺跡第21次調査 確認調査

所在地 国分寺市南町3丁目28-6

調査面積 5.37㎡

調査期間 平成21年3月16日(1日間)

担当者 立川 明子

調査概要

調査区は、恋ヶ窪谷東側の武蔵野段丘上に位置する。排水管理設によって遺構に影響が及ぶ範囲にトレンチを設定し確認調査を行った。地表下約70cmで地山(Ⅲb層)を検出し、遺構確認を行った。遺構は検出されなかった。

出土遺物

Ⅲb層中から縄文土器片2点が出土した。



1. 調査区全景 西から



2. 調査区全景西側 南から



3. 調査区全景東側 南から

⑬恋ヶ窪東遺跡第20次調査 個人宅造地

所在地 国分寺市本町4丁目21-24

調査面積 7.21㎡

調査期間 平成21年3月3日～3月4日(2日間)

担当者 立川 明子

調査概要

調査区は、武蔵野段丘上、さんや谷の東側台地上に立地する。排水管理設によって遺構に影響が及ぶ範囲にトレンチを設定し確認調査を行った。調査区は中央部に攪乱が大きく深く及んでおり、調査区壁際の地表下約80cmで地山(Ⅲb層)を検出した。遺構は検出されなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



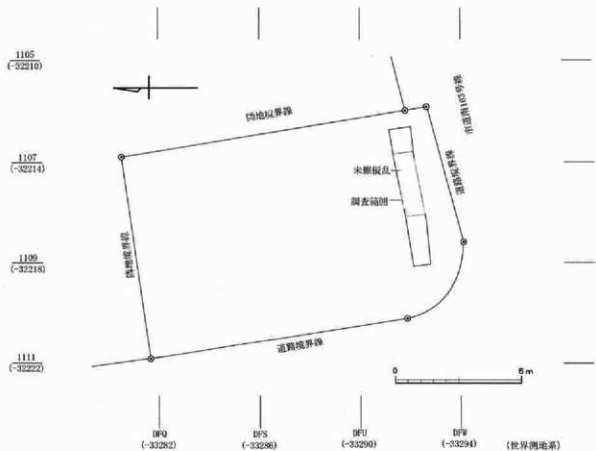
1. 調査区全景 西から



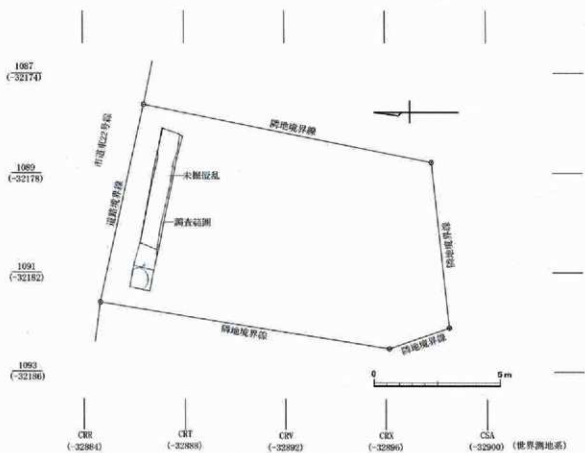
2. 調査区全景西側 南から



3. 調査区全景東側 南から



⑫地区 第21次調査区全体図



⑬地区 第20次調査区全体図

⑬ 喰ヶ谷戸北遺跡第2次調査 確認調査

所在地 国分寺市南町1丁目 311-12

調査面積 34.18 m²

調査期間 平成20年6月2日～6月11日 (6日間)

担当者 立川 明子

調査概要

調査区は武蔵野段丘上に立地し、約100m南西には本多谷の斜面部が形成されている。調査の対象は、建物ピット埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該個所にトレンチを設定し遺構の確認調査を行った。

調査区は、現地表下約60～120cmまで表土が及び、表土下層から地山(Ⅲb層)が検出された。Ⅲb層では縄文時代の遺構確認は困難であるため、地表下120cmのⅢc層まで掘り下げ遺構確認を行った。縄文時代の遺構は検出されなかった。旧石器時代の調査として、調査区中央部にサブトレンチを設け、掘削深度である地表面下約200cmのⅤa層下層まで掘り下げて遺構確認を行った。遺構は検出されなかった。

出土遺物

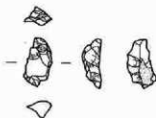
Ⅳ層下層でチャートの縦長剥片(FL01)1点が出土した。



1. 縄文時代全景 東から



2. 旧石器時代全景 西から



K20-2 FL01

遺物番号	種別 形態	出土 位置	最大長	最大幅	最大厚	重量	遺存状態	石材	備考
K20-2 FL01	縦長 剥片	Ⅳ層	2.6	1.5	1.0	2.5	完形	チャート	

⑭殿ヶ谷戸遺跡第11次調査 確認調査

所在地 国分寺市南町2丁目10-23

調査面積 96.17㎡

調査期間 平成20年6月19日～7月9日(13日間)

担当者 立川 明子

調査概要

調査区は武蔵野段丘上に位置し、殿ヶ谷戸谷と本多谷に挟まれた残丘上に位置する。建物基礎によって遺構に影響が及ぶ範囲にトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

調査区では、地表下約50cmで地山(Ⅲb層)を検出し、さらにⅣ層まで掘り下げ縄文時代の遺構確認を行った。埋甕1基(SU1)、土坑3基(SK5～7J)、小穴20基が検出された。埋甕の体部内外面に被熱痕が見られず屋外炉に供したものではないと考えられる。埋甕に伴う柱穴痕等は周辺から検出されなかった。SK5Jは平面形状が不整形であり風倒木と考えられる。SK6Jは、陥穴である。長径120cm、短径90cmで、深さは確認面から110cmで、平面隅丸方形を呈する。底面中央には、逆茂木を立てたと考えられる小穴が検出された。円形を呈し、直径20cmで、深さは遺構底面から40cmである。SK7Jは、焼土が多く炉穴と考えられる。小穴20基は配置、形状、規模等において小穴間に規則性は見られず、竪穴住居等に属する柱穴痕ではないと考えられる。

旧石器時代の調査は、調査区北西部に2.5×2.5mのサブトレンチを設定し、Ⅴa層まで掘り下げた。石器が出土したため、サブトレンチを南東方向に1m×2m拡張したところ、礫8点から成る石器集中地点(ST1)が検出された。

出土遺物

遺構に伴う遺物は、埋甕(JF02)である。Ⅲb層中から縄文土器深鉢(JF01)が出土した。Ⅲc層～Ⅳ層中からナイフ形石器(FA01)、縦長剥片(FL01)が出土した。



1. 調査区縄文時代全景 南から



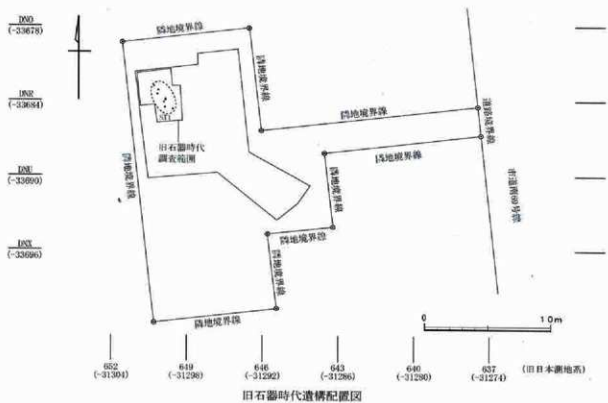
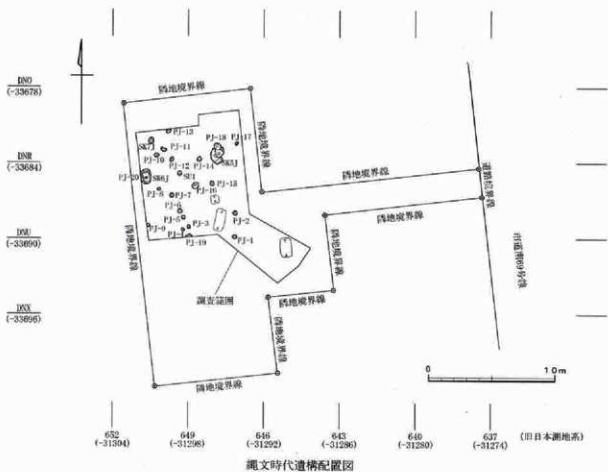
2. 旧石器時代遺物出土状況 南から



3. SU1埋甕全景 南から



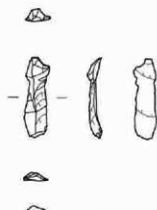
4. SK6J土坑発掘全景 北から



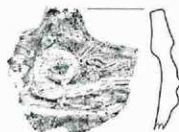
⑭地区 第11次調査区全体図



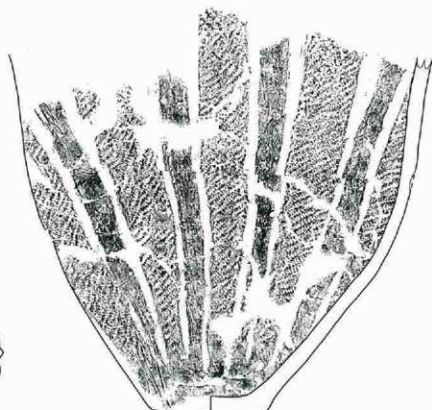
K21-11 IIIc~IV層 FA01



K21-11 IIIc~IV層 FL01



K21-11 遺構外 JF01



K21-11 遺構外 JF02

旧石器時代 石器一覧

遺物番号	種別 形態	出土 位置	最大長	最大幅	最大厚	重量	遺存状態	石材	備考
K21-11 FA01	ナイフ形石 器	IIIc~IV 層	2.6	1.8	0.8	3.3	完形	黒曜石	
K21-11 FL01	縦長剥片	IIIc~IV 層	4.2	1.3	0.7	2.0	完形	黒色頁岩	

縄文時代 土器一覧

遺物番号	種別 形態	出土 位置	口径 器高 底径	器形の特徴	成・造形の特徴	備考
K21-11 JF01	深鉢	IIIb層	- (9.5)	口縁部~体部上半に647で やや内湾知板。	印状工具により溝部文掘出。	暗茶褐色。やや硬質。砂粒・金雲母やや多量混入。加曽利B式。
K21-11 JF02	深鉢	IIIb層	- (28.0) 9.0	体部~底部に547で内湾。	注目を掘出した区画内に、華 形網文を施文。	茶褐色。硬質。白色砂粒多量混入。

⑬花沢東遺跡第8次調査 確認調査

所在地	国分寺市南町3丁目2681-33, 108	調査面積	57.11 m ²
調査期間	平成20年6月4日～6月16日(7日間)	担当者	立川 明子

調査概要

調査区は武蔵野段丘上、国分寺崖線と殿ヶ谷戸谷に囲まれた舌状台地の南先端部に位置する。地下室建設工事によって埋蔵文化財に影響の及ぶ範囲にA・B計2カ所のトレンチを設定し、確認調査を行った。

A トレンチでは、現地表面下約100cmで地山(Ⅲc層)を検出した。調査区南壁際から集石遺構(SS2)が検出された。SS2は、Ⅲb層上層から掘り込まれており、平面形は楕円形を呈し、規模は上面幅の長軸で1.2mを測る。遺構の覆土中からは、礫の他に炭化材が検出され、焼礫を用いた屋外炉と考えられる。旧石器時代の遺構確認をするため、調査区中央にサブトレンチを設け、現地表面下約140cmまで掘り下げてVa層を検出し遺構確認を行った。砂岩の剥片1点が出土した。B トレンチでは、現地表面下約60～80cmで地山(Ⅲb層)を検出し遺構確認を行った。縄文時代に帰属すると考えられる小穴(PJ-1)が検出された。縄文時代・旧石器時代の遺構確認を行うため、サブトレンチを設定し、現地表面下約120cmでIV層下層～Va層で遺構確認を行った。IV層中からは、旧石器時代の石器集中地点(ST18)が検出された。剥片が多く出土したことから石器製作が行われた地点であると考えられる。

出土遺物

ST18から礫・剥片18点が出土している。石材は、チャート5点、砂岩12点である。



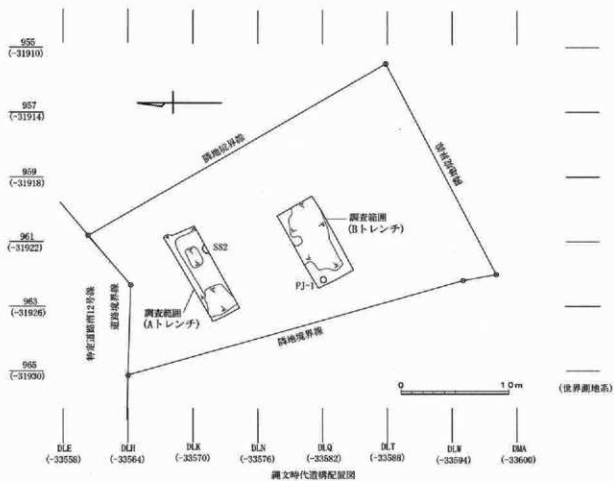
1. A トレンチ縄文時代全景 西から



2. A トレンチ旧石器時代全景 南から



3. B トレンチ旧石器時代全景 東から



⑮地区 第8次調査区全体図

付編 平成10年～15年度の小規模調査概要

平成10年～15年度 調査地区一覧

第14表 武蔵国分寺跡(遺跡No.10・19) 個人宅造に伴う本発掘調査

地区 番号	調査 次数	調査原因	所在地	面積 (㎡)		現地調査期間	検出遺構	遺物 箱数
				調査	対象			
①	462	個人宅造地	泉町1丁目2458-22	0.99	214.26	H10.5.19 (1日曜)	検出遺構なし	0
②	465	個人宅造地	泉町1丁目2418-1	0.95	312.61	H10.7.3 (1日曜)	検出遺構なし	0
③	472	個人宅造地	西元町2丁目2551-3	24.96	81.02	H10.11.19～H10.11.25 (4日曜)	検出遺構なし	0
④	486	個人宅造地	東元町3丁目1542-1	4.10	184.88	H11.6.14～H11.6.16 (3日曜)	検出遺構なし	0
⑤	489	個人宅造地	泉町1丁目2386-88	11.20	146.78	H11.8.23～H11.8.30 (6日曜)	検出遺構なし	0
⑥	498	個人宅造地	東元町3丁目6-15	3.40	66.25	H12.3.28～H12.4.3 (5日曜)	検出遺構なし	0
⑦	505	個人宅造地	東元町4丁目1473-7	1.32	69.28	H12.5.22～H12.5.23 (2日曜)	検出遺構なし	0
⑧	511	個人宅造地	西元町3丁目2068-3	8.38	240.45	H12.7.4～H12.7.5 (2日曜)	検出遺構なし	0
⑨	515	個人宅造地	東元町4丁目1937-6	5.50	120.97	H12.11.21～H12.11.24 (3日曜)	検出遺構なし	0
⑩	516	個人宅造地	泉町1丁目2458-56	13.05	132.00	H12.11.27～H12.12.1 (3日曜)	検出遺構なし	0
⑪	519	個人宅造地	西元町3丁目1915-28	7.38	106.40	H13.2.15～H13.2.19 (3日曜)	検出遺構なし	0
⑫	521	個人宅造地	西元町3丁目1931-7	4.40	158.47	H13.2.21～H13.2.22 (2日曜)	検出遺構なし	0
⑬	522	個人宅造地	東元町4丁目3-4	1.41	100.71	H13.2.20～H13.2.21 (2日曜)	検出遺構なし	0
⑭	523	個人宅造地	東元町4丁目1759-1	2.22	101.44	H13.2.20～H13.2.21 (2日曜)	検出遺構なし	0
⑮	534	個人宅造地	東元町4丁目1789-2	1.51	70.08	H13.6.4 (1日曜)	検出遺構なし	0
⑯	545	個人宅造地	東元町3丁目1556-7	6.21	132.23	H14.1.9～H14.1.10 (2日曜)	検出遺構なし	0
⑰	546	個人宅造地	西元町3丁目3-48	4.87	127.32	H14.1.7～H14.1.8 (2日曜)	検出遺構なし	0
⑱	547	個人宅造地	西元町3丁目1894-14	3.45	104.37	H14.1.29～H14.1.30 (2日曜)	検出遺構なし	0
⑲	548	個人宅造地	西元町2丁目8-2	3.32	134.32	H14.2.25～H14.2.26 (2日曜)	検出遺構なし	0
⑳	553	個人宅造地	東元町3丁目19-6	2.38	130.32	H14.7.25～H14.7.29 (5日曜)	検出遺構なし	0
㉑	558	個人宅造地	西元町2丁目2548-26	13.25	148.76	H14.11.12～H14.11.13 (2日曜)	検出遺構なし	0
㉒	559	個人宅造地	西元町3丁目15-7	1.96	317.35	H14.12.3 (1日曜)	検出遺構なし	0
㉓	562	個人宅造地	西元町2丁目2548-10	10.56	196.35	H15.2.19～H15.2.27 (3日曜)	検出遺構なし	0
面積合計				136.77	3395.62		箱数合計	0

第15表 花沢西遺跡(遺跡No.8) 個人宅造に伴う本発掘調査

地区 番号	調査 次数	調査原因	所在地	面積 (㎡)		現地調査期間	検出遺構	遺物 箱数
				調査	対象			
㉔	13	個人宅造地	南町3丁目2799-14	4.91	232.44	H13.11.21～H13.11.26 (6日曜)	検出遺構なし	0
面積合計				4.91	232.44		箱数合計	0

①武蔵国分寺跡第462次調査 個人宅造地

所在地 国分寺市泉町1丁目2458-22

調査面積 0.99㎡

調査期間 平成10年5月19日(1日間)

担当者 木下 さおり

調査概要

調査区は、さんや谷の斜面部より約120m西方の武蔵野段丘上に位置する。調査の対象は排水管理設により遺構に影響が及ぶ範囲であり、当該個所にトレンチを設定した。工事掘削深度である地表下40cmまで盛土が及んでおり、遺構は検出しえなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. A トレンチ全景 西から



2. B トレンチ全景 西から



3. C トレンチ全景 西から

②武蔵国分寺跡第465次調査 個人宅造地

所在地 国分寺市泉町1丁目2418-1

調査面積 0.95㎡

調査期間 平成10年7月3日(1日間)

担当者 木下 さおり

調査概要

調査区は、さんや谷の斜面部より約130m西方の武蔵野段丘上に位置する。調査の対象は、排水管理設によって遺構に影響が及ぶ範囲であり、当該個所にトレンチを設定した。地表下40cmで地山を検出し、遺構確認を行ったが遺構は検出されなかった。

出土遺物

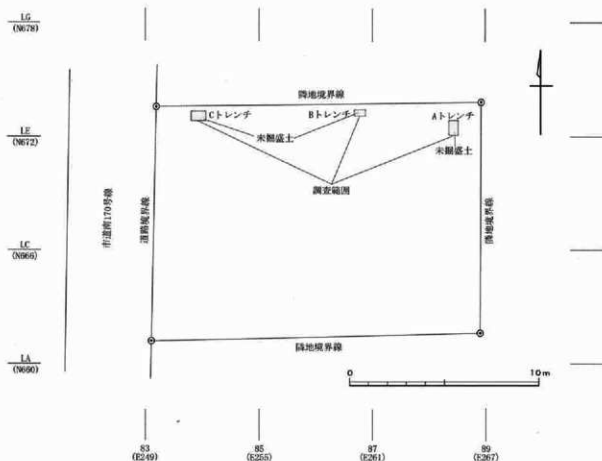
遺物は出土しなかった。



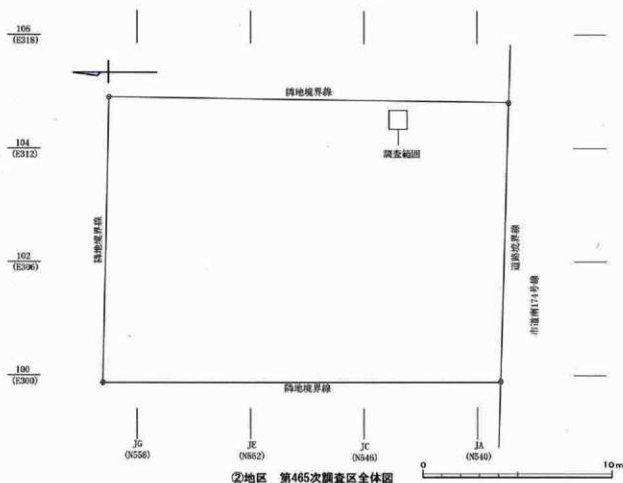
1. 調査区全景 西から



2. 調査区全景 北から



①地区 第462次調査区全体図



②地区 第465次調査区全体図

③武蔵国分寺跡第472次調査 個人宅造地

所在地 国分寺市西元町2丁目2551-3

調査面積 24.96㎡

調査期間 平成10年11月19日～11月25日(4日間) 担当者 上敷領 久

調査概要

調査区は、東山道武蔵道より約100m西方で、武蔵野段丘上、国分寺崖線付近に位置する。調査の対象は、建物基礎埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲であり、当該個所にトレンチを設定した。地表下30cmで地山(Va層)を検出し、遺構確認を行ったが遺構は検出されなかった。さらに地表下130cmのVI層まで掘り下げたが、遺構は検出されなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. 調査区全景 北から



2. 調査区全景 北から

④武蔵国分寺跡第486次調査 個人宅造地

所在地 国分寺市東元町3丁目1542-1

調査面積 4.10㎡

調査期間 平成11年6月14日～6月16日(3日間) 担当者 木下 さおり

調査概要

調査区は、備寺寺院地中軸線から約399m東方の寺院地東北地域に位置する。調査の対象は、排水管理設により遺構に影響の及ぶ範囲であり、当該個所にトレンチを設定した。地表下30cmで地山を検出し、遺構確認を行ったが遺構は検出されなかった。

出土遺物

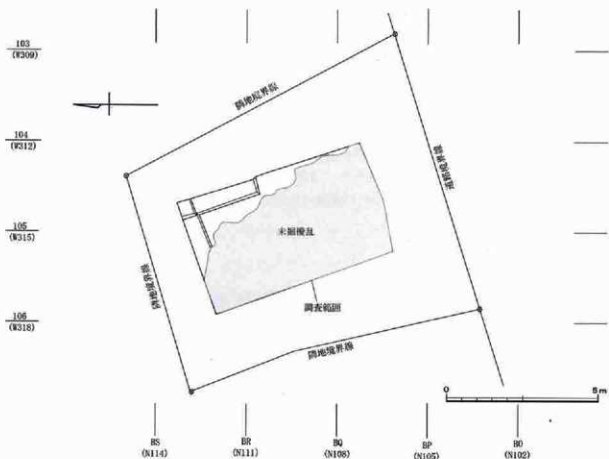
遺物は出土しなかった。



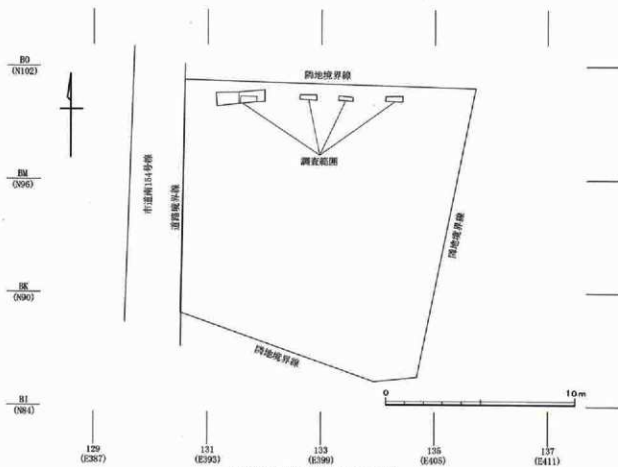
1. 調査区全景 東から



2. 調査区全景西側 南から



③地区 第472次調査区全体図



④地区 第486次調査区全体図

⑤武蔵国分寺跡第489次調査 個人宅造地

所在地 国分寺市泉町1丁目2386-88

調査面積 11.20㎡

調査期間 平成11年8月23日～8月30日(6日間)

担当者 上敷領 久

調査概要

調査区は、さんや谷の斜面部より約90m西の武蔵野段丘上に位置する。調査の対象は、排水管理設により遺構に影響が及ぶ範囲であり、当該個所にトレンチを設定した。地表下40cmで地山(Ⅲc層)を検出し、遺構確認を行ったが遺構は検出されなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. A トレンチ全景 西から



2. B トレンチ全景 東から

⑥武蔵国分寺跡第498次調査 個人宅造地

所在地 国分寺市東元町3丁目6-15

調査面積 3.40㎡

調査期間 平成12年3月28日～4月3日(5日間)

担当者 木下 さおり

調査概要

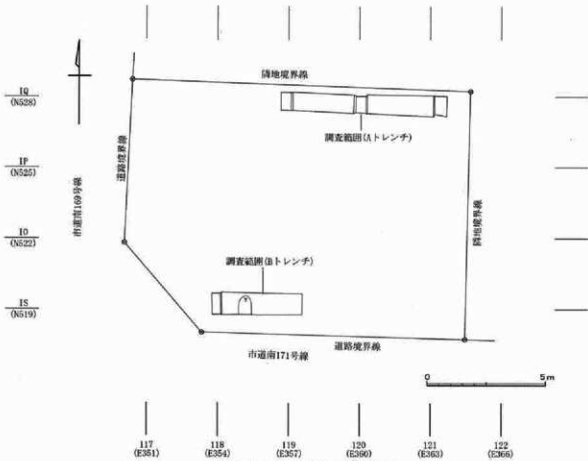
調査区は、立川段丘上、僧寺寺院地中軸線から約618m東方の寺院地外に位置する。調査の対象は、排水管理設により遺構に影響が及ぶ範囲であり、当該個所にトレンチを設定した。地表下40cmで地山(Ⅳ層)を検出し、遺構確認を行ったが遺構は検出されなかった。

出土遺物

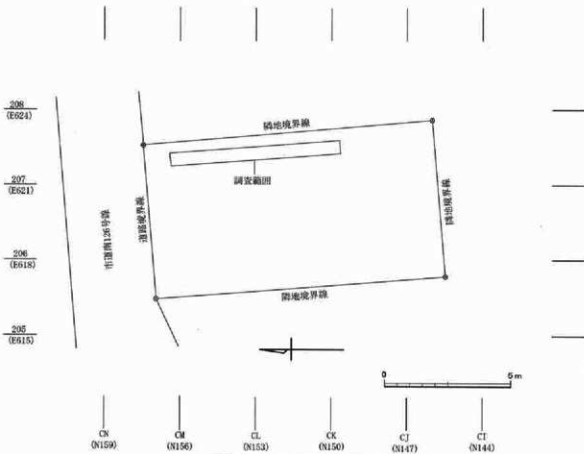
遺物は出土しなかった。



1. 調査区全景 北から



⑤地区 第489次調査区全体図



⑥地区 第498次調査区全体図

⑦武蔵国分寺跡第505次調査 個人宅造地

所在地 国分寺市東元町4丁目1473-7

調査面積 1.32㎡

調査期間 平成12年5月22日～5月23日(2日間)

担当者 木下 さおり

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約507m東方の寺院地外に位置する。調査の対象は、排水管理設によって遺構に影響が及ぶ範囲であり、当該個にトレンチを設定した。地表下40cmで地山(IV層)を検出し、遺構確認を行ったが遺構は検出されなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. A トレンチ全景 西から



2. B トレンチ全景 西から

⑧武蔵国分寺跡第511次調査 個人宅造地

所在地 国分寺市西元町3丁目2068-3

調査面積 8.38㎡

調査期間 平成12年7月4日～7月5日(2日間)

担当者 木下 さおり

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約180m東方の寺院地南東地域に位置する。調査の対象は、排水管理設によって遺構に影響が及ぶ範囲であり、当該個所にトレンチを設定した。遺構確認を行った。地表下30cmで地山を検出し、遺構確認を行ったが遺構は検出されなかった。

出土遺物

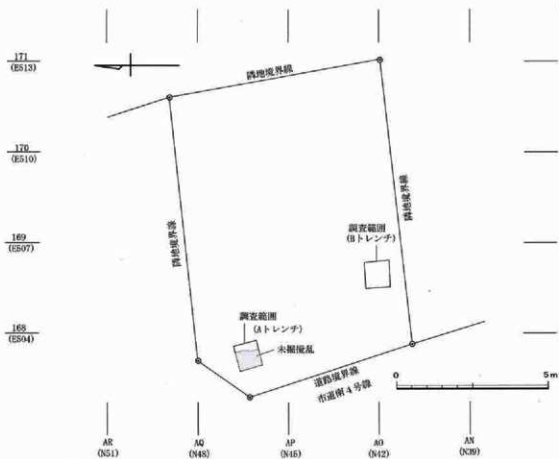
遺物は出土しなかった。



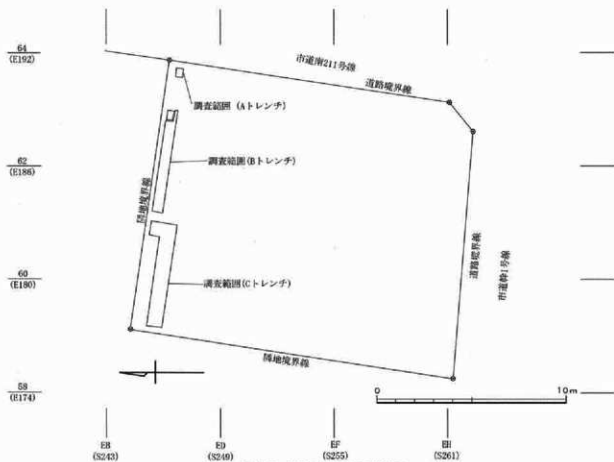
1. A トレンチ全景及びB トレンチ東側 南から



2. B,C トレンチ全景 東から



⑦地区 第505次調査区全体図



⑧地区 第511次調査区全体図

⑨武蔵国分寺跡第515次調査 個人宅造地

所在地 国分寺市東元町4丁目1937-6

調査面積 5.50㎡

調査期間 平成12年11月21日～11月24日(3日間)

担当者 上敷領久

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約402m東方の寺院地南東地域に位置する。調査の対象は、駐車場造成工事によって遺構に影響の及ぶ範囲であり、当該個所にトレンチを設定した。地表下40cmで地山(Ⅱ層)を検出し、遺構確認を行ったが遺構は検出されなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. 調査区全景 東から



2. 調査区全景 北から

⑩武蔵国分寺跡第516次調査 個人宅造地

所在地 国分寺市泉町1丁目2458-56

調査面積 13.05㎡

調査期間 平成12年11月27日～12月1日(3日間)

担当者 上敷領久

調査概要

調査区は、さんや谷の斜面部より約100m西方の武蔵野段丘上に位置する。調査の対象は、排水管理設によって遺構に影響が及ぶ範囲であり、当該個所にトレンチを設定した。地表下40cmで地山(Ⅲb層)を検出し、遺構確認を行ったが遺構は検出されなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



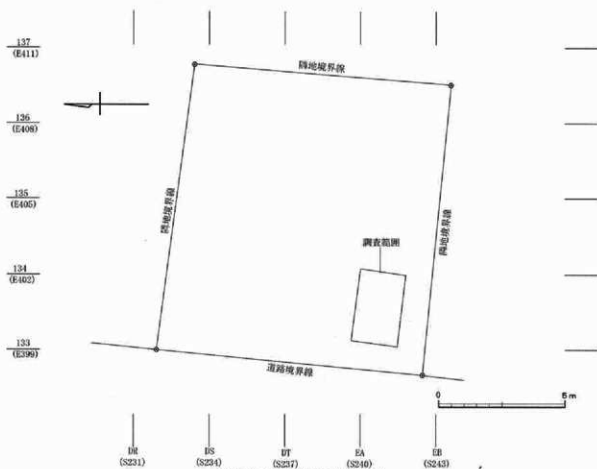
1. A トレンチ全景 西から



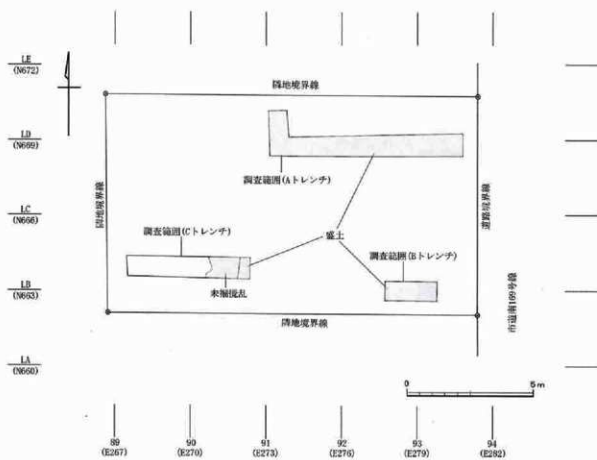
2. B トレンチ全景 西から



3. C トレンチ全景 東から



⑨地区 第515次調査区全体図



⑨地区 第516次調査区全体図

⑪武蔵国分寺跡第519次調査 個人宅造地

所在地 国分寺市西元町3丁目1915-28

調査面積 7.38㎡

調査期間 平成13年2月15日～2月19日(3日間)

担当者 上敷領 久



1. Aトレンチ全景 東から



2. Bトレンチ全景 南から

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約315m東方の寺院地南東地域に位置する。調査の対象は、排水管理設によって遺構に影響が及ぶ範囲であり、当該個所にトレンチを設定した。工事掘削深度である地表下40cmまで盛土が及んでおり、遺構は検出しえなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。

⑫武蔵国分寺跡第521次調査 個人宅造地

所在地 国分寺市西元町3丁目1931-7

調査面積 4.40㎡

調査期間 平成13年2月21日～2月22日(2日間)

担当者 上敷領 久

調査概要

調査区は、⑪地区の北側に隣接する。調査の対象は、排水管理設によって遺構に影響が及ぶ範囲であり、当該個所にトレンチを設定した。地表下60cmで地山(Ⅲa層)を検出し、遺構確認を行ったが遺構は検出されなかった。

出土遺物

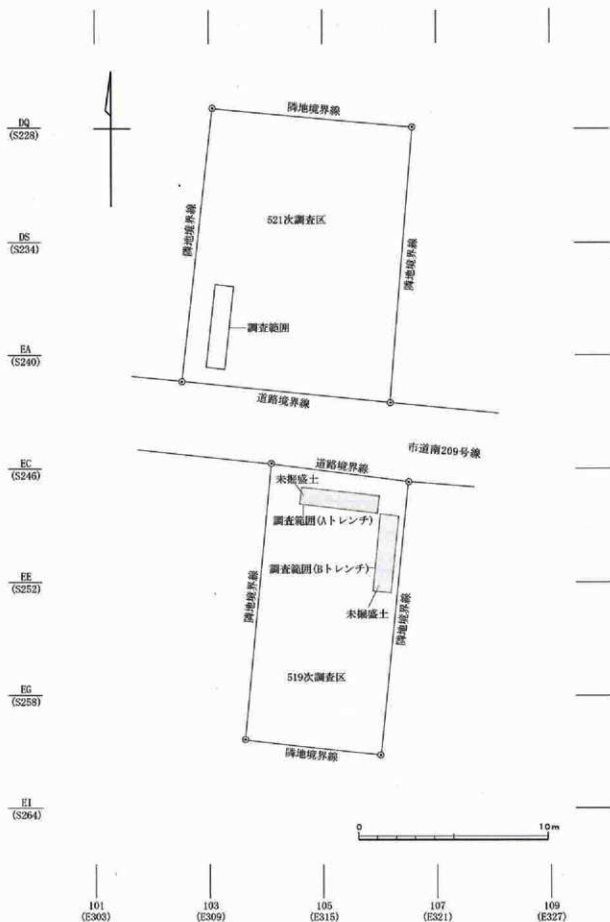
遺物は出土しなかった。



1. 調査区全景 北から



2. 調査区全景 東から



①・②地区 第519次・521次調査区全体図

⑬武蔵国分寺跡第522次調査 個人宅造地

所在地 国分寺市東元町4丁目3-4

調査面積 1.41㎡

調査期間 平成13年2月20日～2月21日(2日間)

担当者 上敷領 久

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約579m東方の寺院地外に位置する。調査の対象は、排水管理設によって遺構に影響が及ぶ範囲であり、当該個所にトレンチを設定した。地表下40cmで地山(IV層)を検出し、遺構確認を行ったが遺構は検出されなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. 調査区全景 北から

⑭武蔵国分寺跡第523次調査 個人宅造地

所在地 国分寺市東元町4丁目1759-1

調査面積 2.22㎡

調査期間 平成13年2月20日～2月21日(2日間)

担当者 上敷領 久

調査概要

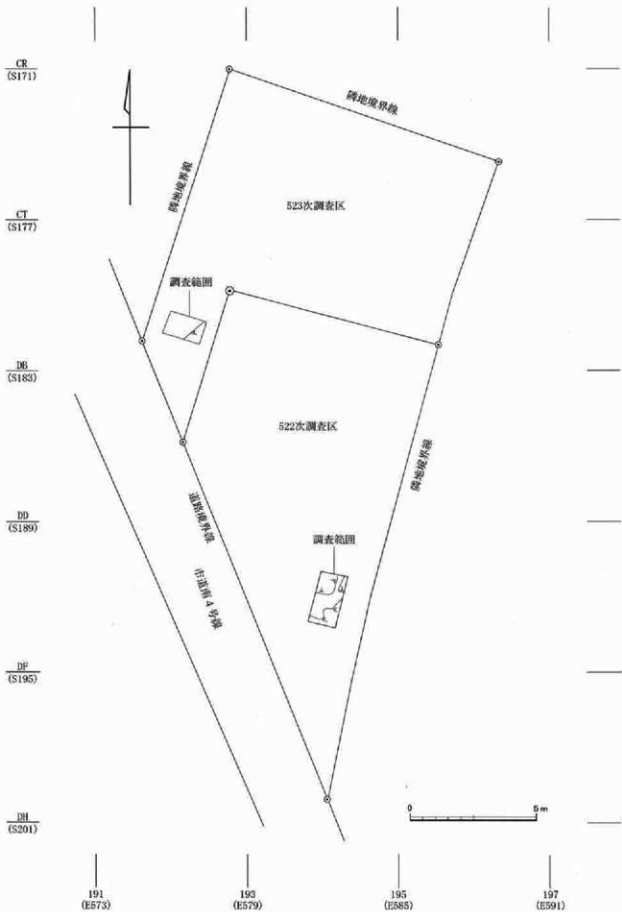
調査区は、⑬地区の北側に隣接する。調査の対象は、排水管理設によって遺構に影響が及ぶ範囲であり、当該個所にトレンチを設定した。地表下50cmで地山(IIIb層)を検出し、遺構確認を行ったが遺構は検出されなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. 調査区全景 西から



⑬・⑭地区 第522次・523次調査区全体図

⑮武蔵国分寺跡第534次調査 個人宅遺地

所在地 国分寺市東元町4丁目1789-2

調査面積 1.51㎡

調査期間 平成13年6月4日(1日間)

担当者 木下 さおり



1. 調査区全景 東から

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約591m東方の寺院地外に位置する。調査の対象は、排水管理設によって遺構に影響が及ぶ範囲であり、当該個所にトレンチを設定した。地表下80cmで地山(IV層)を検



2. 調査区全景 北から

出し、遺構確認を行ったが遺構は検出されなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。

⑯武蔵国分寺跡第545次調査 個人宅遺地

所在地 国分寺市東元町3丁目1556-72

調査面積 6.21㎡

調査期間 平成14年1月9日～1月10日(2日間)

担当者 上敷 領久

調査概要

調査区は僧寺寺院地中軸線から約297m東方の寺院地東北地区に位置する。調査の対象は、排水管理設によって遺構に影響が及ぶ範囲であり、当該個所にトレンチを設定した。地表下30cmで地山(III層)を検出し、遺構確認を行ったが遺構は検出されなかった。

出土遺物

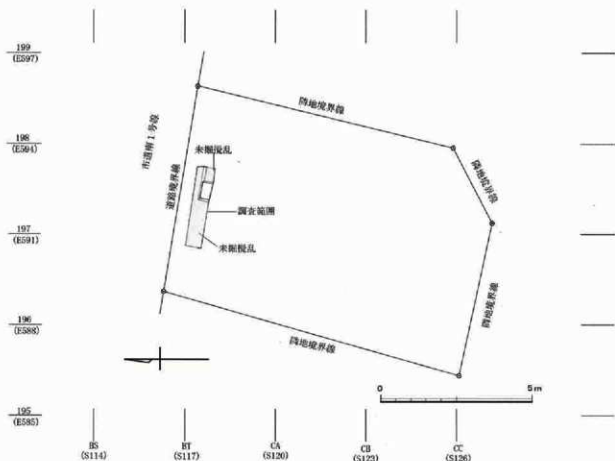
遺物は出土しなかった。



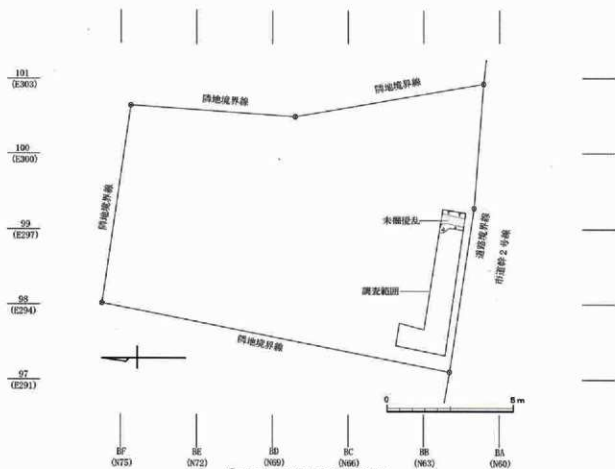
1. 調査区全景 東から



2. 調査区全景 北から



⑮地区 第534次調査区全体図



⑯地区 第545次調査区全体図

⑪武蔵国分寺跡第546次調査 個人宅遺地

所在地 国分寺市西元町3丁目3-48

調査面積 4.87㎡

調査期間 平成14年1月7日～1月8日(2日間)

担当者 上敷領 久

調査概要

調査区は僧寺寺院地中軸線から約198m東方の寺院地外に位置する。調査の対象は、排水管理設によって遺構に影響が及ぶ範囲であり、当該個所にトレンチを設定した。地表下30cmで地山(IV層)を検出し、遺構確認を行ったが遺構は検出されなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. A トレンチ全景 西から



2. B トレンチ全景 西から

⑫武蔵国分寺跡第547次調査 個人宅遺地

所在地 国分寺市西元町3丁目1894-14

調査面積 3.45㎡

調査期間 平成14年1月29日～1月30日(2日間)

担当者 上敷領 久

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約240m東方の寺院地外に位置する。調査の対象は、排水管理埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲であり、当該個所にトレンチを設定した。工事掘削深度である地表下40cmまで盛土が及んでおり、遺構は検出しえなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



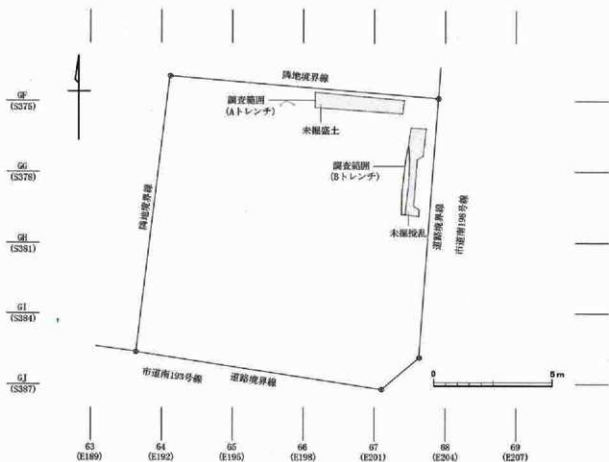
1. A トレンチ全景 東から



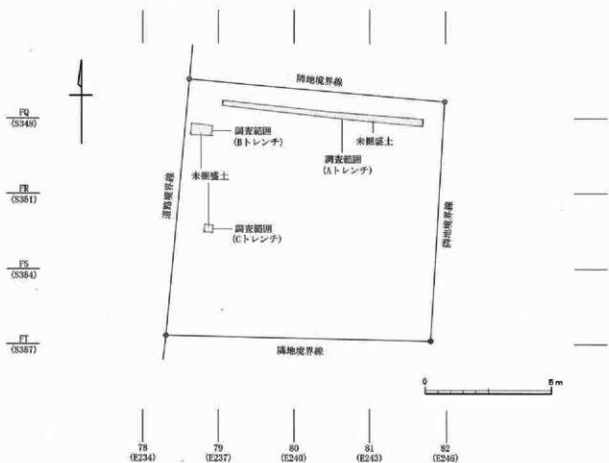
2. B トレンチ全景 西から



3. C トレンチ全景 北から



①地区 第546次調査区全体図



①地区 第547次調査区全体図

⑬武蔵国分寺跡第548次調査 個人宅造地

所在地 国分寺市西元町2丁目8-2

調査面積 3.32㎡

調査期間 平成14年2月25日～2月26日(2日間)

担当者 上敷領 久

調査概要

調査区は、東山道武蔵道より約50m西方で、武蔵野段丘上、国分寺崖線中に位置する。調査の対象は、排水管理設によって遺構に影響が及ぶ範囲であり、当該個所にトレンチを設定した。工事掘削深度である地表下40cmまで攪乱が及んでおり、遺構は検出しえなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. Cトレンチ全景 東から



2. Aトレンチ全景 西から



3. Bトレンチ全景 北から

⑭武蔵国分寺跡第553次調査 個人宅造地

所在地 国分寺市東元町3丁目19-6

調査面積 2.38㎡

調査期間 平成14年7月25日～7月29日(5日間)

担当者 上敷領 久

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約285m東方の寺院地東北地域に位置する。調査の対象は、排水管理設によって遺構に影響が及ぶ範囲であり、当該個所にトレンチを設定した。工事掘削深度である地表下40cmまで盛土が及んでおり、遺構は検出しえなかった。

出土遺物

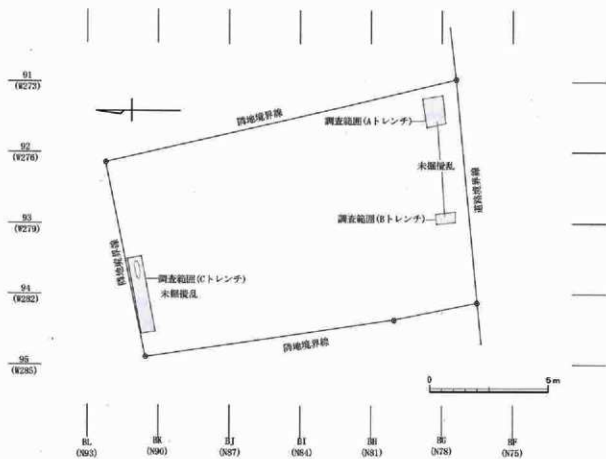
遺物は出土しなかった。



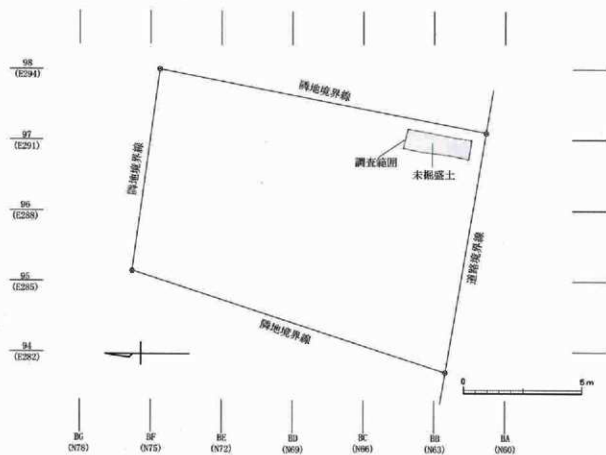
1. 調査区全景 南から



2. 調査区全景 北から



地区 第548次調査区全体図



地区 第553次調査区全体図

②武蔵国分寺跡第558次調査 個人宅造地

所在地	国分寺市西元町2丁目2548-26	調査面積	13.25㎡
調査期間	平成14年11月12日～11月13日(2日間)	担当者	上敷領 久

調査概要

調査区は、東山道武蔵道より約17m西方で、武蔵野段丘上、国分寺崖線中に位置する。調査の対象は、排水管理設及び建物基礎埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲であり、当該個所にトレンチを設定した。工事掘削深度である地表下60cmまで盛土が及んでおり、遺構は検出しえなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. No.1 トレンチ全景 南から



2. No.2 トレンチ全景 南から

②武蔵国分寺跡第559次調査 個人宅造地

所在地	国分寺市西元町3丁目15-7	調査面積	1.96㎡
調査期間	平成14年12月3日(1日間)	担当者	上敷領 久

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約204m東方の寺院地南東地域に位置する。調査の対象は、排水管理設によって遺構に影響が及ぶ範囲であり、当該個所にトレンチを設定した。地表下60cmで地山を検出し、遺構確認を行ったが、遺構は検出されなかった。



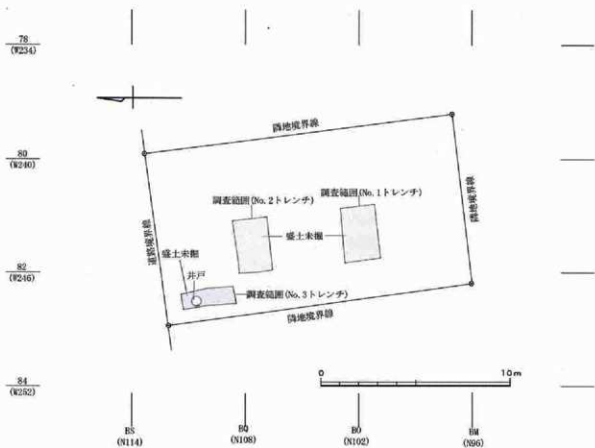
1. 調査区全景 西から

出土遺物

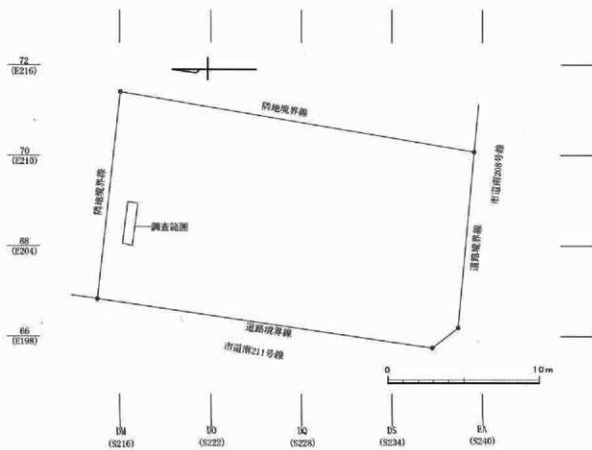
遺物は出土しなかった。



2. 調査区全景 東から



㊦地区 第558次調査区全体図



㊦地区 第559次調査区全体図

②武蔵国分寺跡第562次調査 個人宅遺地

所在地	国分寺市西元町2丁目2548-10	調査面積	10.56㎡
調査期間	平成15年2月19日～2月27日(3日間)	担当者	上敷領 久

調査概要

調査区は、東山道武蔵道より約50m西方で、武蔵野段丘上、国分寺崖線付近に位置する。調査の対象は、排水管理設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該個所にトレンチを設定した。地皮下40cmで地山(IV層)を検出し、遺構確認を行ったが遺構は検出されなかった。



1. A トレンチ全景 南から

出土遺物

遺物は出土しなかった。



2. B トレンチ全景 南から

②花沢西遺跡第13次調査 個人宅遺地

所在地	国分寺市南町3丁目2799-14	調査面積	4.91㎡
調査期間	平成13年11月21日～11月26日(6日間)	担当者	上村 昌男

調査概要

調査区は、さんや谷の斜面部より約40m東方の武蔵野段丘上に位置する。調査の対象は、排水管理設によって遺構に影響が及ぶ範囲であり、当該個所にトレンチを設定した。地皮下50cmで地山を検出し、遺構確認を行ったが遺構は検出されなかった。

出土遺物

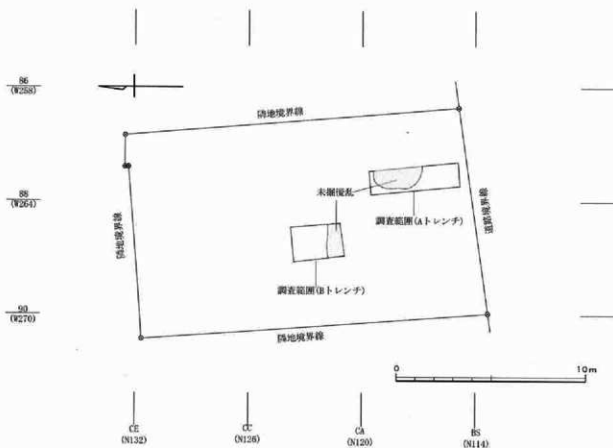
遺物は出土しなかった。



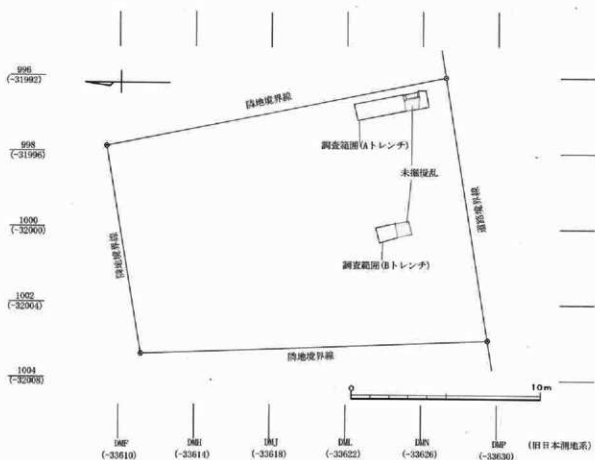
1. A トレンチ全景 北から



2. B トレンチ全景 南から



地区 第562次調査区全体図



地区 第13次調査区全体図

平成 20 年度 国分寺市埋蔵文化財調査年報

発行日 平成 22 年 3 月 31 日
編著者 国分寺市遺跡調査団
© (団長 坂詰 秀一)
発行所 東京都国分寺市教育委員会
〒185-8501 国分寺市戸倉 1-6-1
☎042-325-0111 (代表)
印刷所 株式会社アイ・スィー・アイ渡辺印刷

令和 4 年 (2022) 3 月 2 日 デジタル版作成

